

---

# フラジャイルの日記帳 2011

フラジャイル

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

フラジャイルの日記帳2011

### 【Nコード】

N9594P

### 【作者名】

フラジャイル

### 【あらすじ】

オンライン・ゲーム「ドルアーガの塔」の the Recovery of BABYLIM」のキャラクターによる日記形式のゲーム・ログです。

## フラとクロスが六十九に上がる

十二月二十九日。

この日記も三冊目となる。予定通りであれば、今年わたし達姉妹が三次職に上がる訳だが、実装そのものの日時がまだ明確になっていないので、色々と予測しながら、こちらのレベル上げの予定も考えていく必要があると思う。

現時点のレベルは、タルカスが六十九、わたしとクロス姉が六十八、そしてリレイヤーが六十三である。今後のロードマップだが、まずタルカスとクロス姉、そしてわたしがなるべく同時に七十になり、キシユアの信頼クエを開始する。そしてリレイヤーを含めた全員の七十装備を手に入れた後、リレイヤーのレベル上げを開始。早急に六十八にして、ダンシング・ステインガーと強化した七十防具を装備する、という具合に考えている。まあ、うまくいけばよいのだが…

今日のレベル上げで、わたしとクロス姉が四時半過ぎぐらいまで上がった。

昨日からキシユアで七十と七十一モンスターを相手にレベル上げをしている。昨日の段階では花七十を中心に狩るつもりだったが、今日から狼とコウモリに目標を変更した。花より手ごわいが宝石を落としてくれるので多少金策にもなるというのが理由だ。もちろん金策なら城砦の方がよいかもれないが、六十八になってしまったので、同格の骨相手ではどうしても取得出来る経験値が少ない、考えた末レベルアップを優先してキシユアで狩りを続ける事にする。

十二月三十日。

キシユアでレベル上げ。わたしとクロス姉が六時少し前ぐらいま

で上がった。

十二月三十一日。

引き続きキシユアでレベル上げ。あまり時間が取れなかったが、わたしとクロス姉が六時過ぎぐらいまで上がった。

今日で今年も終りとなる。あつという間だったような気もするが、全員そこそこレベルも上がり、まあなんとかクエストもこなしている。来年はどうなることやら…

一月一日。

あけましておめでとうございます…とは言っても相変わらずキシユアでレベル上げ。わたしとクロス姉が七時半ぐらいまで上がった。夜、リレイヤーが初めて力の間に入れた。

「どうだった？」

「あまり言いたくない」

「え、何、討伐に失敗したの？」

「そうじゃなくて、あたし自身の操作ミスで戦闘中に力の間から出ちゃったのよ。あーあ、自己嫌悪…」とつぶやいた後自室に行き、しばらく伏せていたようだ。まあ何も言わないでおいてやろう。

一月二日。

キシユアでレベル上げ。わたしとクロス姉が八時半過ぎぐらいまで上がった。

夕方、露店をまわっていたら、+2まで強化したドル七十防具セットが格安で売っていた。早速購入して+5まで上げて装備。これで近々開始予定の信頼クエがかなり楽になった。

一月三日。

キシユアでレベル上げ。わたしとクロス姉が九時過ぎぐらいまで上がった。

一月四日。

今日からタルカスも交えてキシユアでレベル上げ。わたしとクロス姉が十時半ぐらいまで、タルカスが六時半ぐらいまで上がった。

一月五日。

朝、わたしとクロス姉が六十九に上がった。予定通りメンテナンスに上げる事に成功。

これでタルカスも含めて3人が六十九である。このまま一気に進み、出来れば今月中に三人揃って七十まで上げ、信頼クエに突入して七十装備を揃える事が出来れば有難い。

## フラ、クロス、タルカスが七十に上がる

一月六日。

キシユアで三人がレベル上げ。あまり時間が取れなかったが、わたしとクロス姉が三時十五分ぐらいまで、タルカスが七時少し前ぐらいまで上がった。

今日で日記を付け始めて丸二年である。その間にわたしはレベル二十一から六十九まで上がり、第一世代の三人も似たような上がり方をしている。過日公開されたロードマップの最新版によると、近々三次職が実装されるので、この点は留意しておきたい。いずれにせよ、予定通りであれば、来年の今頃は四人とも確実に三次職になっているだろう。この世界が続いていければの話だが。

ちなみに、去年の今日の分を見てみると、わたしはレベル五十一でシッパル湖にいる。レベルキャップは六十五で、その差は十四。今日現在のわたしのレベルは六十九でレベルキャップは七十七。その差は八だ。確実に縮まってはいるらしい。

一月七日。

キシユアで引き続き三人がレベル上げ。わたしとクロス姉が四時半ぐらいまで、タルカスが七時半少し前ぐらいまで上がった。

夜、今年最初のワラシベ。倉庫の鍵だという情報が届いたので最後までは換えず、絵の段階に留めて次回の慈愛かチートポーションを待つ事にする。

一月八日。

キシユアで引き続き三人がレベル上げ。わたしとクロス姉が五時半過ぎ、タルカスが八時ぐらいいまで上がった。

夜、リレイヤーがカシユシユゲイルとの復讐戦に挑んだ。

「元旦みたいなへまは二度とやらないわよ。任せておいて。」

と言いつつ意気揚々と力の間に入って行つたが、やはりカシユの強さは半端ではなく、槍による間接攻撃という有利な状況にありながら、エリクサー九回使用、最大被ダメ15824という惨たんたる状況だった。が、それでも何とか討伐に成功したようだ。

「三十傑には入れなかつたけど、報酬としてデザインストーン2個もらえたから、まあ悪くは無いと思う。それよりも元旦の借りを返せた事の方が嬉しいわね。これで心やすらかに眠れるわ」

といいつつ、流石に疲れた様子で自室に向かい、そのままぐっすり寝たらしい。まあ何にせよ『いつか死なすリスト』の項目が、また一つ消せたのは目出度い話である。

ところでリレイヤーが確認してきた事だが、力の間ではスキル攻撃に徹していたにも関わらず、武器の耐久値が減って壊れてしまった。冥の裂け目では通常攻撃でも武器の耐久値が減らないので、そのギャップはいささかストレスがたまるそうだ。

一月九日。

キシユアで引き続き三人がレベル上げ。わたしとクロス姉が六時過ぎ、タルカスが八時半ぐらいまで上がった。

一月十日。

キシユアで引き続き三人がレベル上げ。わたしとクロス姉が八時少し前、タルカスが九時少し前ぐらいまで上がった。

一月十一日。

キシユアで引き続き三人がレベル上げ。わたしとクロス姉が八時半ぐらい、タルカスが九時少し過ぎたぐらいまで上がった。

寵愛を使っているわたし達が、使っていないタルカスに段々追いついてきている。タルカスが持っている寵愛は、わたし達なりのロードマップの中で使い所を考えているので、今は使えない。別の方法でバランスをとる必要があるそうだ。

一月十二日。

キシユアで引き続き三人がレベル上げ。わたしとクロス姉が九時過ぎ、タルカスが九時半ぐらいまで上がった。

今日のメンテナンスで、装備している武器のレベルと強化値によって魔法攻撃の威力が変化するという仕様になった。早速クロス姉が冥の裂け目で威力検証をしたが、レベル一の金マトで撃った場合とレベル六十のフォトンダガーで撃った場合では大体一割程度の差が付いたようだ。一方、わたしのヒールだが、四を金マトでかけた場合と三十六杖でかけた場合では、一ないし二割の差が生じた。本番の戦いではそこそこありがたいが、武器の消耗が早いレベル上げの時は、ことさら必要では無いというのが正直な感想。まあ、上がらないよりは上がる方が良いので、うまく活用していこう。

一月十三日。

キシユアで引き続き三人がレベル上げ。わたしとクロス姉が十時少し前、タルカスが十時過ぎぐらいまで上がった。

一月十四日。

キシユアで引き続き三人がレベル上げ。朝までにわたしがXとPの間、クロス姉がXの後半、そしてタルカスがEまであと1ミリという位置まで上がった。出来れば今日中に全員七十に上げてしまいたいので、昼休み及び夕方から続行。夜になってわたしとクロス姉がついに七十に到達した。タルカスもEとXの間まで来てるので、多分明朝には上がるだろう。

一月十五日。

キシユアでタルカスを集中的にレベル上げ。夜明けに七十に到達した。これでようやく三人揃って信頼クエストを始められる。

まず村長のところに行き、キシユア東の詰め所にいるラティーフ、



山道の草むらで倒れているジュンデー…と順にクエをこなして行き、無事に信頼クエが出来る様になった。このあと、レベル上げプラス信頼クエを行い、クエに関わっている三人全員はもちろん、リレイヤーの分も七十防具を手に入れる予定だ。

なお、テストも兼ねてある程度信頼クエを進めた。クリフバットの牙七十一は一ラウンド達成、フォレストタワーも肉十個のうち三個までは集め、オーガの指令書も二通まではあつめられた。また、その過程で経験値も入り、わたしとクロス姉の二人が四時すぎぐらい、タルカスも三時半少し前ぐらいまで上がった。両方同時で出来るのはとてもありがたい。

## 信頼ク工続行と世界的大幅修正

一月十六日。

キシユアで引き続き信頼ク工兼レベル上げ。昨日途中までやったオーガの指令所とタートルの肉集めの続きを行い、どちらも集めて報告、一区切りである。オーガフィクサーは、やはりかなり手ごわいが、それでも何とか戦えるし、まして今日はデスペナ無しの日なので、死んでも気にする事なくガンガンいけた。レベルの方も、わたしとクロス姉が五時少し前、タルカスが四時少し前まで上げるこ  
とが出来た。

一月十七日。

キシユアで引き続き信頼ク工兼レベル上げ。わたしとクロス姉が六時ぐらい、タルカスが五時ぐらまで上がった。

タルカスがバビリム西に買い物に出かけたら、プリ七十スキルのエリアヒールが売られていたのを見つけたがどうするか、と問い合わせてきた。まだ習得していなかったスキルなので欲しい事は欲しい。ただ、安くは無いが以前ほど高くは無いので財布と相談。まあ良いだろうという事で買ってきて貰って習得した。名前の通り、特定の範囲内にいるパーティーメンバーをまとめてヒール出来るとい  
うスキルで、グレーターヒールに較べると目標が任意設定出来る代  
わりに範囲が狭い。ランクを上げれば範囲が広がるそうだが、正直  
ちよつと様子見したい気持ちだ。

一月十八日。

キシユアで引き続き信頼ク工兼レベル上げ。オーガの司令書ク工は一度クリアし、二度目でも二枚まで集めたが、どうもクエストアイテムの出が悪いと感じる。自分でやってみた限りではコマンドオーガフィクサー十匹倒してようやく三枚集まるという程度の確率だ。

他の人に聞くと、五割ぐらいとか三匹連続で出ないのは珍しいといった意見が多いのだが、今日は七匹連続ハズレという目にもあった。どうもバラツキがある様だ。

経験値は、わたしとクロス姉が六時過ぎぐらい、タルカスが五時過ぎぐらいまで上がった。やはりオーガだと一匹倒すのに時間がかかるから上がりが遅いが、現在は信頼クエがメインなので、それはあまり気にしていない。信頼クエがひと段落ついたら、レベル上げの効率が良い狩り場に移動する事を考えてはいるが。

一月十九日。

キシユアで引き続き信頼クエ兼レベル上げ。わたしとクロス姉が七時少し前ぐらい、タルカスが五時半過ぎぐらいまで上がった。

それと全員信頼が二十個集まったので、わたしとクロス姉の分でクロス姉のサダジワークケープとスカートを手に入れた。六十レベルのおしゃれ改造防具とは比べ物にはならないが、それでも現在着ているメイ五十防具よりは遥かにましな防御力を持っている。まして入手の困難さから考えて、おしゃれ改造防具が手に入るまでに転職してしまう可能性もあるので、わたしと同様とりあえずキシユア七十防具で当分ののぐらしい。

一月二十日。

キシユアで引き続き信頼クエ兼レベル上げ。わたしとクロス姉が七時半過ぎぐらい、タルカスが六時少し前ぐらいまで上がった。

一月二十一日。

キシユアで引き続き信頼クエ兼レベル上げ。クロス姉が一度タゲが跳ねて死んでしまった為、十五分ほど巻き戻ってしまったが、それでもわたしが八時半ぐらい、クロス姉が八時十五分ぐらい、タルカスが六時過ぎぐらいまで上がった。

タルカスがキシユアの信頼を三十個貯め、七十頭防具のゴールド

サレットを手に入れた。

「無強化でも防御が八十九あって、それまで使っていた五十頭のサレットの防御力を二割ほど上回るのよ。とにかく六十頭というのが課金のスチールサレットだけしかなくて、しかも大した性能じゃないからパスしてただけけど、さすがに最近きつくなっていたの。一番気にしていた箇所だったからホツとしたわ」

なるほど。そういう経緯なら、タルカスにとってかなり有り難いだろう。ちなみに、ソル七十体防具のエルブスアーマーは、今使っている六十課金防具のファインパレードアーマーより性能が悪くて不要との事なので、後は足だけ揃えればタルカスの七十防具は揃う事になる。もつとも足はキシユアの信頼が五十個必要なので、またしばらくかかりそうだ。

一月二十二日。

キシユアで引き続き信頼クエ兼レベル上げ。わたしが九時過ぎ、クロス姉が九時前ぐらい、タルカスが六時半ぐらいまで上がった。それだけやっていながら、クエアイテムの破れた司令書は二枚しか集まらない。なんとももどかしいが、まあ仕方無いだろう。

塔周辺の露店でスカ七十頭+6が2百銀で売っていた。それほど安くは無いが、信頼クエの手間と強化のコストを考えると手に入れた方が良いだろう。という事でレイヤー用に購入。これで六十八槍のダンシング・ステインガー及び七十頭と足防具が確保出来た。あとは身体と腰と腕が手に入ればリレの七十装備は整う。タルカスも足だけ、クロス姉も足と腕を揃えれば整うが、ペースを考えると意外に手間取りそうだ。

一月二十三日。

キシユアで引き続き信頼クエ兼レベル上げ。あまり時間が取れなかったが、それでもわたしが九時十五分ぐらい、クロス姉が九時過ぎぐらい、タルカスが六時四十五分ぐらいまで上がった。破れた司

令書は一枚だけ獲得。昨日の二枚と合わせて信頼が各三つずつ手に入った。

それと今朝、わたしとクロス姉の寵愛が切れた。七十まで一気に上げるという計画はクリアしているので予定通り切った訳だが、慈愛が効いていない状態はしばらくぶりであり、ヒールや魔法攻撃のキヤスティングが変に遅く感じる。

一月二十四日。

キシユアで引き続き信頼クエ兼レベル上げ。わたしが九時三十分ぐらい、クロス姉が九時十五分ぐらい、タルカスが六時少し前ぐらいまで上がった。破れた司令書は一枚だけ獲得。

ついこの間二十四になったばかりのギルメンの一人であるソルが、まだフレイム・スラッシュを手に入れていないという事でギルドで塔パーティーをやる事になった。最近は十〜十四周回をやる人が少ないせい、二十四スキルや二十七スキルがやたらに高騰していて、レベル二十代がメインの人はおいそれと買う事が出来ない。運営側でなんとか改善してほしいものだと思いつつ周回をやってみたら、なんと二周目で出てくれた。かなり幸運と言っべきだろう。

一月二十五日。

キシユアで引き続き信頼クエ兼レベル上げ。時間が無かったため経験値はほとんど獲得できず。破れた司令書は一枚だけ獲得。

一月二十六日。

キシユアで引き続き信頼クエ兼レベル上げ。わたしが十時少し前ぐらい、クロス姉が九時半過ぎぐらい、タルカスが七時過ぎぐらいまで上がった。破れた司令書は合わせて四枚獲得。信頼の数は現在わたしとクロス姉が二十八個、タルカスが十八個となった。

今日からフレのレンがしばらく合流する事になった。レベルが六十八なのでまだ信頼クエは出来ないが、レベル上げと即効ポット集

めは出来る。一方こちらは火力面で助けて貰えるという相互協力である。そのおかげかどうかは分からないが、信頼集めもレベル上げもかなり調子が良かった。

ところで本日のメンテナで、かなり大きな修正と変動があった。

まず各キャラのスキル仕様だが、わたしやクロス姉の様な後衛には有難い結果となっている。プリのリザレクションのキャストタイムが三十秒から八秒に縮まり、メイのアイスプレスも三秒から二秒に縮まるなど、魔法スキルがかなり改善されている。一方、リレイヤーやダムネイシアの様なス力系には気の毒な事だが、ブラッド・ピアッシングのクールタイムが十二秒に伸び、ソニックの攻撃力が四倍程度に縮むなど、かなり攻撃力が押さえ込まれる結果になってしまった。全体的に見て『盾スカウト』の能力が減らされている様だ。「要するに、転職したのならいつまでもス力やってるんじゃないという事らしいわね」

リレイヤーが不満たらたらの体でダムネイシアとネガっていたが、言うだけ言っと、すっきりした表情に戻っていた。

「でもまあ、これで槍レンに特化するフンギリがついたわよ。」  
ダムも二刀にする決心をしたそうだ。ソル系は今回目立ったスキルの改善は無かったが、回復剤の効果がかなり上がったのが、タルカスには有難いらしい。

「今狩ってるコマンドオーガオテイサーのタゲを固定するのに、今までは即効が必要だったのが、今回から高級だけで間に合う様になったのよ。お座り回復の改善もあるから、かなり節約になると思う」  
その言葉通り、座って P を回復すると、以前よりかなり大幅に上がる様になった。クロス姉で一回につき百一、わたしで九十三、タルカスでも五十以上も上がるのだ。正直、これはかなり助かる。

また、スキルを振り直すアイテムも、一次と二次両方を、この二ヶ月以内にログインしたキャラ全員に無料配布するなど、至れり尽くせりと言って良いアップデートがなされている。正直、ここまで

やるとは思わなかったというのがわたし達やフレの偽らざる心境だ。『運営の本気』と言えるかもしれない。まあ、この本気をもう少し早く出していたら、ここまで過疎らずに済んだのに……と意地悪な気持ちも無い事は無いが。

一月二十七日。

キシユアで引き続き信頼クエ兼レベル上げ。昨日のメンテナで信頼クエが六十七から受けられるようになったので、フレの六十八レオンさんが時折参加するようになったが、今日は都合が悪く、わたし達だけで行う。わたしが十時十五分ぐらい、クロス姉が十時少し前ぐらい、タルカスが七時半過ぎぐらいまで上がった。破れた司令書は四枚獲得。信頼の数は現在わたしとクロス姉が三十一個、タルカスが二十一個となった。

ところで、昨日のメンテナで、七十装備購入に必要な信頼の数も変動している。今までは体二十、腰二十、腕四十、足五十が必要だったのが、昨日から体と腰が三十、腕と足が二十となった。という訳で、タルカスが体を除いて唯一未購入だった七十足を購入、早速強化して使うようになった。これではクロス姉の腕と足、リレイヤーの体と腰と腕が手に入れば、わたし達四人の七十装備は揃う事になる。

一月二十八日。

キシユアで引き続き信頼クエ兼レベル上げ。わたしがEまであと二ミリぐらい。クロス姉が十時半ぐらい、タルカスが八時ぐらいまで上がった。破れた司令書は三枚獲得し、報告して各人とも信頼を三つずつ獲得。

## フラとクロスが七十一に上がる

一月二十九日。

キシユアでの信頼クエだが、今日、ようやく四人全員の七十装備を手に入れる事が出来た。経験値は、わたしがXの後半。クロス姉がEの後半、タルカスが八時半過ぎくらいまで上がった。わたしもクロス姉も、この週末には上がりそうだ。

ところで二十六日に実施された各修正で、今日になって気がついた事があった。レンジャーの投擲武器の威力が軒並み上がっているのだ。四十槍のジャベリンや五十三槍のキーンジャベリンも上がっているが、特に既にリレイヤーが手に入れている六十八槍のダンシングステインガーは、それまで+7で攻撃力百六十四だったのが、今回から百七十七になった。ほぼ十レベル上の武器との差に匹敵する。

「それは嬉しいけど、二十六日にも言った通り、レンに転職したからにはいつまでもスカやってないで槍持ちなさい、という運営のありがた〜いお気持ち分かる変更ね。でも選択肢が減らされるだけでムカつく者もいることは運営も覚えておいて欲しいわよ。」

憎まれ口は相変わらずだが、それ以前にリレはレンとしての特性を生かす方向に攻撃特性の強化を推し進める決意だったらしいし、その点からも別に問題は無さそうだ。いずれにせよ、ダンシングステインガーがより魅力的な武器になったというのは、リレのレベルも早急に上げる理由のひとつになる。信頼クエも終わった事だし、他の三人もそろそろ七十一になるだろう。七十一になった時点で一区切りつけ、リレのレベル上げを始めても良いだろうと三人で話している。

一月三十日。

朝、キシユアでのレベル上げで、わたしが七十一に上がった。四



人の中でわたしが一番レベルが上という状態も珍しいが…夜に再開してクロス姉も上がった。これでひとまずわたしとクロス姉のレベル上げは一段落。明日からはレイヤーのレベル上げを中心に訓練プログラムを組む予定。

## リレイヤーが六十四に上がる

一月三十一日。

今日からクリガリス城砦に戻って、リレイヤーのレベル上げを開始する。上の四人やディシプリン達は修正前の長期塔録プログラムで貰える寵愛に間に合ったので、リレイヤーに慈愛三十日+寵愛+チートポーションを使用する事にしたら、さすがに上がりが早い。二時間少して経験値ゼロから六時半の方向まで上がってしまった。二十六日に施行された経験値テーブルの緩和も手伝っているのかも知れないが、この調子なら来月中にはリレも六十八槍のダンシングステインガーを手にする事が可能だろう。

それにしても、今回の修正は全体的に好評の様だが、長期塔録で貰えるアイテムからの寵愛の除外は、正直、不思議な事をするものだと言わざるを得ない。膨大な捨てアカウントが発生したであろうオイル配布の廃止はまだ分かるが、寵愛は慈愛のアップグレードであり、しかも慈愛の効果が切れた場合、また新たに寵愛を手に入れない限りその効果は復活しないのだから、それが嫌な人はどうしても慈愛を恒常的に買う事になる。つまりショップでは買えない寵愛が登録二年後に確実に手に入るのなら、誰でも三十日間二千五百円の慈愛を買い続けるきっかけが発生するのだ。運営側に立ってみれば、こんなに美味しい話は無いと思うのだが…

二月一日。

クリガリス城砦で、引き続きリレイヤーのレベル上げ。朝方にレベル六十四に上がった。その後、ギルメンのエピクエ十八の手伝いで久しぶりに鉱脈の亀PD場に行き、三十ほど待って沸いたブリリアント・カットを討伐して街に戻り、荷物整理をして終了。

リレイヤーが六十五／六十六／六十七に上がる

二月二日。

クリガリス城砦で、引き続きリレイヤーのレベル上げ。六時半の方向まで上がった。

二月三日。

クリガリス城砦で、引き続きリレイヤーのレベル上げ。朝方にレベル六十五に上がった。二日で一レベルというかなり早いペースだ。あと三レベルで、いよいよダンシングステインガーと、強化した七十防具が装備出来る。

二月四日。

クリガリス城砦で、引き続きリレイヤーのレベル上げ。八時半過ぎの方向まで上がった。

二月五日。

朝、リレイヤーが六十六に上がった。これで城砦の亡骸クエを始められるので、金策も合わせて可能となる。もともと城砦で狩っていれば、亡骸クエ無しでもかなりの金策にはなるのだが、どうせなら効率が良い方がありがたい。やってみたところ、大体経験値一時間半ぐらいで亡骸が三十個集まる。リレイヤーが六十七になるまではこの形で狩りを続ける事にする。

夜、リレイヤーが力の間での戦いに応募したが、残念ながら抽選漏れ。どうも最近当選率が悪い。その後タルカスのギルメンのエピクエの手伝いでクロス姉が久しぶりに塔に上る。

二月六日。

クリガリス城砦で、引き続きリレイヤーのレベル上げ。七時半過

ぎの方向まで上がった。

二月七日。

朝、リレイヤーが六十七に上がった。いよいよあと一レベルでダ  
ンシング・ステインガーが使えるようになる。今週の力の間には間  
に合いそうだ。当選すればの話だが…

## リレイヤーが六十八に上がる

二月八日。

クリガリス城砦で、引き続きリレイヤーのレベル上げ。八時過ぎの方向まで上がった。早ければ明日のメンテナ前、遅くても明後日には上がれる様に訓練していきたいと思う。

バビリムの露店で、最近あまり見なくなったヒール3が売られていた。ツアイトもミッドカーメインも持っていないスキルだが、ミッドカーメインはしばらくレベルを上げる予定が無いので、とりあえず支援回復の機会があるツアイトに取得させる。

二月九日。

朝、リレイヤーが六十八に上がった。ようやくダンシング・ステインガーを持てるようになり、その破壊力はリレイヤーが見せてくれた試射で十分把握出来た。ただ、これからは今までの盾ス力主流と違う戦い方が必要になりそうだ。おそらく、パーティー戦闘においてはサラのクロス姉の様なポジションが主体となるだろう。リレイヤーの攻撃力や特性などを踏まえ、訓練場所や相手のモンスターも改めて選定しなければならない。

二月十日。

クリガリス城砦で、引き続きリレイヤーのレベル上げ。六時の方向まで上がった。

昨日のメンテナに伴うアップデートで、オーブによる武器の発光エフェクトの一部が刷新された。風や闇等の中級オーブ以上で、今まで発光すると設定されていた状態に、色々な形態のエフェクトが追加されている。

例えば風は、それまでばやけたピンクの発光だったのが、エメラルドグリーン色をしたつむじ風が刀身の周囲にまとわり着くような

ものになっている。これはレイヤーのダンシングステインガーがこの形で発光している。

タルカスのブラッディ・マスカレードに新たに装着した光中級は、刀身の三か所ぐらいから直射光が発せられている様なエフェクトになった。

水中級は泡の様な効果、土中級は土くれが舞うような感じで、ややジョークのような感じがする。闇は黒い雲の中にピンクの雲が混ざっていて、これは賛否あるらしい。わたしは気に入ったが。あと、炎中級は見えないが、見た人の話ではかなり良いらしい。

ただし、付ければ必ずそうなるとは限らない様で、このブラマスの場合も頻度3でようやくこの効果がえられた。それ以外は以前と同じく、ボヤツとした雲状の発光になる。あと、確認した限りでは、アップリフトオーブやヒーリングオーブは、特に変化は無い様子だ。

今まで実用性がないと評判が悪かったオーブだが、今回から少し様子が変わっている。実際、風中級はかなり値上がりしており、それまで十五銀ぐらいだったのが六十〜七十銀、場合によっては二百銀をつけた露店まである。幾らなんでも高すぎると思うのだが…

## リレイヤーが六十九／七十に上がる

二月十一日。

朝、リレイヤーが六十九に上がった。寵愛と経験値テーブル緩和の恩恵も手伝っているだろうが、思った以上に順調にレベルが上がっている。

午前中はリレイヤーが所属しているギルドのメンバーのエピクエ十五の手伝い。午後からは転職クエの手伝いをした。

二月十二日。

クリガリス城砦で、引き続きリレイヤーのレベル上げ。五時の方まで上がった。もう六十八骨では流石に経験値の獲得量が厳しくなっているので赤オーガ場に移動している。

午後八時からワラシベ。冥の裂け目での討伐に参加するとたまに貰える開拓跳躍のお陰でかなり移動が楽である。今回初めて四人全員が交換出来た。なお、力の間は抽選漏れ。キャストタイムが短くなったリザレクションを早く活用したいのだが、なかなか機会に恵まれない。

二月十三日。

クリガリス城砦が混んでいたのので、エデル峠のスライム場に場所を移してリレイヤーのレベル上げを行う。城砦よりドロップアイテムは悪いが、七十三や七十四を相手に出来るため、経験値の入りは確かによい。加えて昨日のチートポジションを使用し、休日で午前中ずっとレベル上げが出来た事もあり、九時の方向まで上がった。この調子なら次のメンテナまでにリレイヤーがレベルアップしそうだ。

二月十四日。

朝、リレイヤーがレベル七十に上がった。遂に四人とも七十代突入となる。現在のカンストには間に合わないかもしれないが、二人にはなるべく早くレベルを上げてもらおうと考えている。そうしない、わたし達のレベル上げにも差し障りがあるからだ。

夕方、バビリム西の露店街を見て廻っていたら、ソル課金七十体防具のアバノスアーマーが売られていた。エルブスの性能が悪いために、タルカスの防具で唯一レベル六十のままだった部分で、しかも+7まで強化が施されている。価格はかなりのものだったが、以前からタルカスが欲しがっていた装備なので思い切って購入。これでまた二十近くタルカスの防御力が上がった。

それと、これも以前からリレイヤーとダムネイシアが欲しがっていた『つややかな水着セット』が売られていた。価格が手ごろだったのでこれも購入。どちらが着るか揉めていたが、結局リレイヤーはナイトメア黒セットを脱ぎたく無いという結論に達し、ダムネイシアが着る事になった。



## タルカス、リレイヤーが七十一に上がる

二月十五日。

エデル峠のスライム場で引き続きリレイヤーのレベル上げ。六時過ぎの方向まで上がった。

二月十六日。

エデル峠のスライム場で引き続きリレイヤーのレベル上げ。九時過ぎの方向まで上がり、レベルと経験値がタルカスとほぼ拮抗したので、予定通り明日からタルカスも寵愛を使用して、リレイヤーと同時にレベル上げを始める事にする。目論見通りなら、二人のレベル上げがレベルキャップ開放及び三次職実装と上手く重なり、このまま一気に転職出来るかも知れない。

ところで、今まで一度もサンキュー・セットを購入した事が無いアカウントは、今回のメンテナまでに購入すると、三万四千GPが戻ってくるという。丁度タルカスが寵愛を使ってレベル上げを始めようという最高のタイミングであり、さっそく購入。ついでにリレイヤーも来月分の延長チケットとして買ってしまおう。

二月十七日。

タルカスのギルドメンバーのメイ職の転職クエストの手伝い。クエ該当者のメイ四十にログ五十四が助っ人として参加してくれたので、それほど苦労なくクリア。

そういった予測も立ったので、今回はそれぞれ受け持ちを分担する事にした。まず残っていたエピソード十五はメドルがドルイド役で参加。空中神殿までの護衛をリレイヤーが引き受け、審判の荒野にいる職別PDはタルカスが参戦、その間にリレイヤーが岩穴に移動してカース・オブ・エルブルズ戦に参加。運命のディステイニー戦は攻撃がクロス姉で回復はわたしが参戦。そして最後のソウル・オブ・ラ

ピリンス戦はタルカスとわたしに参加した。それぞれの技能にあつた形で分担したが、思惑通り成功。

その後、エデル峠に戻ってスライム場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ。十時半の方向まで上がった。早ければ明日、遅くてもこの週末には二人とも七十一になりそうだ。

二月十八日。

朝、リレイヤーとタルカスがともにレベル七十一に上がった。二人がレベル上げの対象なので流石に経験値の獲得速度は遅くなったが、それでも特に問題無く続いてはいる。特に七十一になると攻撃が相手によく当たる様になるので、やはりその分効率は良くなった感じだ。

## タルカス、リレイヤーが七十二に上がる

二月十九日。

エデル峠のスライム場で引き続きタルカスとリレイヤーのレベル上げ。六時少し前の方向まで上がった。

二月二十日。

タルカスとリレイヤーのレベル上げ。思い切って峠の少し奥にある高レベルのサソリ場に向かう。レベル七十五から七十七までのギルタブリル・ウィザードやギルタブリル・テイマーの巣窟であり、七十一のわたし達には、ちょっと荷が勝ちすぎる様に感じていたのだ。いや気後れしていたのだが、今日は死んでも経験値が減る心配がないので、テストのつもりで挑んでみる。結果は上々で、タルカスもリレイヤーも、きちんと攻撃が当たってくれる。流石に相手の攻撃力や体力は半端無く強いが、それでも思ったよりも楽に倒せる事が判明。これならいけると考え、ここでレベル上げ開始。経験値は七時過ぎまで上がった。

二月二十一日。

エデル峠のサソリ場で引き続きタルカスとリレイヤーのレベル上げ。狩りの時間があまり取れなかったが、なんとか七時半過ぎの方向までは上がった。

二月二十二日。

エデル峠のサソリ場が混んでいたもので、スライム場に移ってタルカスとリレイヤーのレベル上げ。九時過ぎの方向まで上がった。

二月二十三日。

引き続きエデル峠のスライム場でタルカスとリレイヤーのレベ

ル上げ。途中でフレのログさんにも手伝ってもらう事が出来た為、Eに掛かり始めるところまで来た。早ければ明日にはあがりそうだ。ところで公式で本日、三次職の実装とレベル八十までのキャップ解放が予定されていたが、バグ等の問題で一週間延長と発表があった。一週間で済めばいいのだが：それと、タルカスの課金の関係でヒロイン桃四点セットが手に入った。なお、サークレットは抽選だったため入手出来なかった。身体の線の出方が少しいやらしいが、まあ彩りからして春だけでも誰か着ようという事になった。で、一番地味な服装のわたしが一番変化がある、というタルカスの意見でわたしが着ることになった。正直気が進まないが、せっかく手に入れたし、春限定という事でしぶしぶ承知。しかし、去年の水着といい、どうもタルカスはエロい服をわたしに着せたがる。似合わないからやめてほしい。

二月二十四日。

朝、タルカスとリレイヤーがレベル七十二となった。特にタルカスは盾が七十五＋7に持ち代えられるので嬉しそうだ。

## タルカス、リレイヤーが七十三に上がる

二月二十五日。

エデル峠のサソリ場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ。あまり時間が取れなかったが、三時半過ぎの方向まで上がった。

今現在、どの程度狩りをしたらどの程度上がるのかを確認してみる。すると、七十二ペア（寵愛使用中）で七十五から七十七までのサソリを七、八匹倒すと両方とも経験値のゲージがドット上がる、という具合である事が分かった。これを積み重ねていけば良い訳だが、単純作業の繰り返しはやはり面白く無い。おかげでややペースが落ちている。少し気合いを入れなければ、と思う。

二月二十六日。

エデル峠のサソリ場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ。五時半の方向まで上がった。夜、力の間の抽選から洩れる。しばらく入っていないのでいい加減うんざりである。

二月二十七日。

エデル峠のサソリ場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ。六時過ぎの方向まで上がった。

二月二十八日。

引き続きエデル峠のサソリ場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ。七時の方向まで上がった。

三月一日。

引き続きエデル峠のサソリ場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ。八時過ぎの方向まで上がった。

タルカスが所属しているギルドに新しい人が体験加入した。まだ塔に慣れていないようなので、ひとりいたギルメンさんと三人で五階から七階まで一緒に登り、どんな感じで進めればいいのかを実地にやっつて、見学してもらった。

三月二日。

引き続きエデル峠のサソリ場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ。八時半過ぎの方向まで上がった。

三月三日。

引き続きエデル峠のサソリ場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ。九時四十五分ぐらいの方向まで上がった。

一昨日の新加入ギルメンであるソル十八さんが、まだハンマーを手に入れていないというので、四階まで上がって親衛隊クエをクリアしてもらった。さっそく使っているそうだが、やはりかなり良い手ごたえだそうだった。

三月四日。

タルカスのギルメンであるログ五十さんから、エピ十七クリアの為の助っ人を頼まれる。こういう役はやはりリレイヤーが一番向いているので、峠からスーマール丘陵地に移動してもらい、花と三色オーブを手伝う。戻って引き続きエデル峠のサソリ場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ。朝の段階でXにかかり始めた。一気に上げてしまいたいので昼休みと夕方に続行。夕食の直前に二人とも無事七十三に上がった。

## タルカス、リレイヤーが七十四に上がる

三月五日。

引き続きエデル峠のサソリ場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ。四時十五分ぐらいの方向まで上がった。

夜、力の間に応募したが、またもや落選。正直、もう当たる気がしない…と言いつつ、また来週も志願するのだろうか（苦笑）。

三月六日。

引き続きエデル峠のサソリ場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ。日曜日という事で時間もとれたため、七時半すぎぐらいの方向まで上がった。

三月七日。

引き続きエデル峠のサソリ場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ。九時少し前の方向まで上がった。

三月八日。

引き続きエデル峠のサソリ場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ。十時半ぐらいの方向まで上がった。

それとタルカスが知人に薦められて、試練の石段の様子を見に行った。

「まあ実態としては、多層化している岩の断崖だったけど、石段に見えない事もなかったわ。」

「うるついでるモンスターはどうだった？」

「入り口付近は、七十六オーバーの雷神兵の大群がいた。そして石段のふもとにある石碑の周囲は、七十九クラスのコウモリとかサーペントがうるついでる。かなり手ごわそうね」

なるほど。知人の話なども総合すると、狩りをするにしてもかな

り厄介になりそうだとはいえまだ情報も十分では無いので、結論を出すのはもう少し後にしよう。どの道タルカスもレイヤーも、一両日中に七十四になりそうとは言え、まだまだ力不足は否めない。今後も峠で頑張って、せめて七十六にはなる必要があると思う。

三月九日。

朝、タルカスとレイヤーがほぼ同時にレベル七十四に到達。五日で一レベルならまあまあといったところだろう。しかし転職可能な八十まであと六レベルある。自らに課した『前衛二人はゴールデーンウィークには転職』という目標に到達出来るかどうか、ちよつと微妙なところだが、まあ悩んでいても仕方が無い。やれるだけの事はやろう。

いずれにせよ、マトツクの修理や蓄積したドロップアイテムの処理もあるので、一旦街まで戻ろうとレポーターがいる修道院の前まで来てみたら、七十四になった二人にクエストが二個発生していた。どちらもわずかながら経験値を手に入れられるクエなので受諾しよう。この峠にいる特定のモンスターを倒す必要があるらしいが、それほど難しそうな相手でも無いので、メンテナ明けにやってみようことにする。

夕刻、赤スライムとシャドウフットを倒すクエをクリア。報酬には経験値が付いており、この二つをクリアしただけで二人のゲージに黄色の部分が現れた。こういうのはとてもありがたいと思う。



## タルカス、リレイヤーが七十五に上がる

三月十日。

引き続きエデル峠のサソリ場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ。五時半少し前の方向まで上がった。

三月十一日。

引き続きエデル峠のサソリ場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ。六時過ぎの方向まで上がった。途中でフレのプリ五十二さんのエピック十八を手伝う為、ホワイトフラムとアラデーが塔に上る。運良くすぐにウィザード四十七が出て一度でクリア出来た。

三月十二日。

引き続きエデル峠のサソリ場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ。八時過ぎの方向まで上がった。実は、おそらくルータの不調のせいだと思うのだが、一度戦闘中に切断してしまい、慌てて再起動したらみんな死に返っていた。わたしは紫のデスペナがゲージに出現。タルカスとリレイヤーも七時半ぐらいまで上げていた経験値が七時ぐらいまで戻ってしまった。こういうのは本当に腹が立つ。ルータは随分長い事使っていて、ここ数日おかしかったのだが、どうやら本格的な調整かファームウェアの書き換え、場合によっては交換も視野にいれる必要があるそうだ。

三月十三日。

引き続きエデル峠のサソリ場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ。九時過ぎの方向まで上がった。

ルータは、どうやら寿命らしいので新しいもの買い換えた。十一日に発生した地震で通販体制がかなり混乱している為、近隣の量販店に買いに行ったのだが、一番近いコ　電気は三階のPC販売

フロアの陳列が散乱して営業不能となっており、二番めに近いヤ  
電気に行く。ここはPC販売フロアが一階にあるので問題は無か  
った。それにしても、思ったよりも大変な事になってきた様だ。

三月十四日。

引き続きエデル峠のサソリ場でタルカスとリレイヤーのレベル  
上げ。朝までに十時過ぎの方向まで上がった。

そのあと、今日は仕事が休みとなったのを受けて一気にレベルを  
七十五まで上げてしまった。これでタルカスは峠で売っているアク  
セサリーなどで防御を中心に強化し、一方リレイヤーは七十五槍の  
アルデクライトを装備したので、攻撃力を五十以上上げられた。い  
よいよ転職可能レベルまで、あと五である。

三月十五日。

タルカスとリレイヤーがレベル七十五になったら、峠の石碑附近  
にクエストが発生した。それ以前に発生していた依頼も合わせて受  
ける為石碑に向かう。先の依頼は冒険者アーティからの「旅人を狙  
う亜人」で、リザードハンター七十四を倒してクエアイテムを二十  
個集めるというもの。そして今回発生したのは「犯人は獣使い」と  
いうクエストで、スコルピオテイマー七十六を倒してクエアイテム  
を十五個集めるというもの。どちらも得られる金銭は低いが、経験  
値が僅かながら貰える。また、後者は今までずっと続けていたサソ  
リ場でのレベル上げと重なるのがありがたい。

旅人を狙う亜人は繰り返しクエストらしいので、先にスコルピオ  
テイマーのクエを済ませてしまおうと、いつものサソリ場に戻って  
狩りを始める。ところが、普段は召還が出るので面倒くさいからな  
るべく沸くな、と思っていたテイマーが、いざとなるとなかなか沸  
いてくれない。まあ世の中そうしたものだと思うが…二人の経験  
値が四時半ぐらいまで上がる程狩りを続けて、ようやくアイテムが  
十五個たまったので報告に行くと、これも繰り返しクエストだと判

明。まあいいかと思いつつ、報告をして本日の狩りを終えた。まあしばらくは狩りを続ける時間の目安として考えておこう。

## タルカス、リレイヤーが七十六に上がる

三月十六日。

引き続きエデル峠のサソリ場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ、及びスコルピオティマー七十六クエスト。クエスト二周分で六時過ぎの方向まで上がった。

色々と試してみたところ、リザードハンター七十四はモンスター自体が出やすいものの、必ずしもクエアイテムが出るわけでは無い。逆にスコルピオティマー七十六は出にくいのが、現在までのところ倒せば必ずクエアイテムが出ることが分かった。レベル上げや金策面の効率を考えれば、やはりサソリ場の方が良いと考えている。

夕刻、調べてみたらタルカスとリレイヤーのアイテムボックスに寵愛がひとつ入っていた。公式を見たら、十一日の地震に関連したもので、現在寵愛を使っている人がログイン不可で延長が出来なかった場合を想定したものと判明。確かにこれは良い判断だと思う。今のところ二人ともコンストするまで寵愛を続けるつもりなので、万が一にもログイン出来なくなった事を考えると非常に助かるのだ。…とは言ってもまあ、今のところログイン出来なくなる気配は無いが。

三月十七日。

引き続きエデル峠のサソリ場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ、及びスコルピオティマー七十六クエスト。クエスト二周分で八時半ぐらいの方向まで上がった。

三月十八日。

引き続きエデル峠のサソリ場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ、及びスコルピオティマー七十六クエスト。九時半過ぎぐらいの方向まで上がったが、ティマー七十六の沸きが悪く、クエストは

一周プラス三匹しか進まなかった。

三月十九日。

早朝、タルカスとリレイヤーが七十六に上がった。これで二人とも鼻に入れるレベルに到達したが、その前にまずクエストをクリアする必要がある。早速門番係のNPCに話しかけてみると、まず最初はシャドウドレイク七十三を倒してクエアイテムを十個、次はスルピオウィザード七十六を倒してクエアイテムを二十個集めるというものだった。そこまではそう難しく無かったが、問題は最後のビーストテイマー七十七を倒すというクエ。召還がかなり出てくるので、正直わたしたちだけでは無理だろう。という事で、助っ人を頼める誰かがいる時に改めて挑む事にする。

## リレイヤーが七十七に上がる

三月二十日。

朝、リレイヤーが所属するギルドのメンバーに助っ人を頼んでピーストテイマーを討伐する。これでタルカスとリレイヤーが炎神の鼻に入ることが出来る様になったが、残念ながら回復役のわたしがまだ七十一なので入れない。ここには七十七スキルが褒章となるクエストがあるので、いずれ機会を作ってクリアする事になるだろう。しかし今のところすぐには無理なので、一旦戻って、試練の石段に行く事にした。

途中でバビリムに戻ったら、露店で生産型の八十槍であるモータルスピアが売られていた。スペックは無強化の時点で攻撃力百三十二、器用+三十。ちなみに器用さはどちらも強化には関係無いらしい。課金の八十槍であるビルム・バンカーより攻撃力が三低い、器用さは十上回っている。迷った拳句購入して+七まで上げてみると攻撃力が百九十一となった。ビルム・バンカーは+七まであげると百九十六だから、五つ差が付くことになる。

「正直微妙なところね。もちろん攻撃力は高ければ高い程良いけど。」

リレイヤー自身も悩んでいる様だ。しかし、まだ使った事が無い武器を軽々に評価する事は出来ない、この問題は転職したから結論を出す、という事になった。

モータルスピアを強化し終えた後、キシユア経由で試練の石段に向かう。情報が少ないので、現在のタルカスやリレイヤーの実力が通用するかどうかを検証するのが目的だ。丁度昨日は力の間があったので今日はデスペナが無い事も助かっている。ちなみに昨日の力の間の抽選だが、言うまでも無い結果だった…

まず、西側の山道にいる狼七十九及びコウモリ八十と対決。流石に強い。だがどちらも致命的な攻撃手段は無く、戦って戦えない相

手でも無いと判断。

一旦石碑まで戻って、今度は石段にいるサーペント七十九と戦ってみる。ここは生息域の奥である石段の上の方にクエがあるので、サーペントを相手にしながら登れるのかを見極めなければならぬ。まずアクティブである事、及び転倒攻撃がある事が判明。それと倒しても二十秒ぐらいで再び沸くので、もたもたしていると絡まれる可能性がある。ちょっとやっかいな相手だ。クエの場所にいくのはもうすこし様子を見てからにしよう。

最後に東側の熊七十八／七十九とワームの検証。意外に熊が倒し易い事がわかった。確かに怪力は溪谷ゆずりで、両手攻撃の破壊力もかなりのものだが、タルカスの防御力を持つてすれば特に致命的ではないと結論。また、風系のスキル攻撃に対して耐性がほぼ無い事も分かった。これに関してはリレイヤーが特に喜んでいる。まあ当然ではあるが、ドロップアイテムも溪谷ゆずりでロクなものでは無いのが問題だが、それは同時に他のパーティーがあまり来ない理由にもなる筈だ。金策になる峠のサソリ場はやはり混んでいるし、新たな選択肢としては有効であると考えている。

三月二十一日。

朝、わたしが所属するギルドのメンバーと、昨日記した石段の上の方にあるクエをクリアに行こうと企てたが、思っていたよりもサーペントの攻撃がひどく、わたしが二回、リレイヤーが一回デスペナを貰ってしまった。後日にまとめて上げてしまおうと思っっているわたしはともかく、リレイヤーはかなり落ち込んでいた。ところがそれから峠に戻ってレベル上げを続けていたら、昼近くになって炎神の鼻の方のクエをリレだけがクリアする機会に恵まれ、二時間とすこしでクリア。七十七スキルのブラットセスロー？を手に入れ、ついでに経験値もクエのついでに二時間ほど獲得。結局タルカスが六時半、リレイヤーが八時半ぐらいまでであった。

三月二十二日。

引き続きエデル岬のサソリ場でタルカスとリレイヤーのレベル上げと金策、及びスコルピオテイマー七十六クエスト。タルカスがリレイヤーとの差を縮めようと、ワラシベで手に入れていたチートポーションを使ってみた。その結果、タルカスが八時半ぐらい、リレイヤーが九時半ぐらいまで経験値を上げた。まだかなり差があるが、それについてはいずれまた工夫して差を縮めようと考えているようだ。実際、タルカスはまだ炎神の鼻でのデーモンクエをやっていないので、その辺も考慮する必要があるだろう。

三月二十三日。

引き続きエデル岬のサソリ場でタルカスとリレイヤーのレベル上げと金策、及びスコルピオテイマー七十六クエスト。タルカスが九時半少し前、リレイヤーが十時半ぐらいまで上がった。

途中でタルカスが所属するギルドで塔十階から十四階を二周。ホワイトフラムが参加した。クイツクボディが出たので買い取らせて貰い、ダムネイシアが取得。

三月二十四日。

朝、リレイヤーが七十七に上がった。

「この間までの最高レベルよね。なんかもう、ついにここまで来たって感じがする」

リレイヤーにしては驚く程素直に喜んでいる。憎まれ口のひと言も口にしないので却って薄気味が悪いが、まあそれだけ苦労して上がったということなのだろう。二十一日に手に入れていた七十七スキルのブラッドスロー？も習得し、早速裂け目で試射をしていた。与ダメ自体は五十八スキルのパワースロー？の方が上だが、出血のデバフが同時にかけられるので、地味にダメージを与えられるそうだ。

ところで、七十七にもなると、もう岬でのレベル上げは正直しん



どい。そこで二十日に記した石段に狩り場を移動して熊七十八と七十九を相手に狩りをする事にした。もっとも熊のドロップアイテムがシヨボすぎるので、どこまで続けるかは正直微妙である。

## タルカス、リレイヤーが七十八に上がる

三月二十五日。

朝、昨日のリレイヤーに続いてタルカスが七十七に上がった。リレイヤーの経験値も四時半近くまで上がっている。

昨日記した狩り場の話だが、狼だと風耐性があるため、リレイヤーによる与ダメが半減してしまう。現在最も重要なのは二人のレベルを上げる事であり、戦闘を長引かせる事は避けたい。という事ではしばらくは熊狩りを続ける事にした。

三月二十六日。

試練の階段の熊場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ。タルカスが六時半少し前ぐらい、リレイヤーが七時半少し過ぎぐらいまで上がった。

三月二十七日。

引き続き試練の階段の熊場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ。タルカスが八時少し前ぐらい、リレイヤーが九時少し過ぎぐらいまで上がった。

三月二十八日。

引き続き試練の階段の熊場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ。朝までにタルカスが九時半ぐらい、リレイヤーがXの真ん中ぐらいまで上がった。夕方に再び続行し、リレイヤーが七十八になる。タルカスも明日か明後日には上がれるだろうと予想。

三月二十九日。

引き続き試練の階段の熊場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ。リレイヤーが四時過ぎぐらいの方向まで上がった。タルカスは朝ま

でにPの真ん中まで来たが、例によってイライラタイムに突入し、残念ながら時間切れ。昼休みか夕方にインする事にして、その場はそこで中断。昼休みは都合でイン出来ず。夕方一時間余りかかってようやく七十八に上がる。リレイヤーも四時半ぐらいの方向まで経験値を獲得。

二人ともあと二レベルである。この調子なら予定通り四月中に八十に到達して転職クエストに入れそうだ。

## タルカス、リレイヤーが七十九に上がる

三月三十日。

今日から、同じ試練の階段にある狼の生息域に狩り場を変更してタルカスとリレイヤーのレベル上げ。タルカスが四時過ぎ位、リレイヤーが五時半少し前ぐらいの方向まで上がった。

三月三十一日。

引き続き狼場でレベル上げ。タルカスが五時半ぐらい、リレイヤーが六時半ぐらいの方向まで上がった。

四月一日。

引き続き狼場でレベル上げ。タルカスが六時十五分過ぎぐらい、リレイヤーが七時半ぐらいの方向まで上がった。同時上げなのだが微妙に差が伸びたり縮んだりするのは、ゲージを見る角度のせいなのだろうか…

四月二日。

引き続き狼場でレベル上げ。タルカスが八時半ぐらい、リレイヤーが九時半ぐらいの方向まで上がった。

四月三日。

引き続き狼場でレベル上げ。タルカスが十時半過ぎぐらい、そしてリレイヤーがレベル七十九に上がった。タルカスも明日か明後日には上がるだろう。いよいよカウントダウンが始まったという感じだ。昼から、フレのスト八十さんの支援で石段登り。今日はデスクペナが無いので思い切っていける。しかしやはりタルカスとリレイヤーが一緒というのは難しい。そこでフレさんには迷惑をかけたが、最初はタルカス、そして次にリレイヤーとひとりずつ行く事にし、

なんとか上段まで到達。クエも受けられるようになった。

ついでに石段の最奥ににいる三次職転職PDのカンサを見学に行ったらしい。

「かなり強そうだけど、近いうちに戦わなくてはならないのよね。」  
リレイヤーが神妙な顔でそう言った。その似合わない様子が、却ってその深刻さを物語っている。はたしてどうなるのだろうか…と  
思っていたら、夜、リレイヤーがギルメンの三次職転職クエストに参加することになった。わたしたち全員にとっても初めての経験だ。  
カンサの二つ手前からの開始だったが、移動も含めてかなり大変だ  
という。タルカスとリレイヤーが同時に進めるのは困難かもしれない。

四月四日。

引き続き狼場でレベル上げ。タルカスがEの真ん中ぐらい、リレイヤーが三時半ぐらいまでできた。また、二人は狼の信頼クエも受けられるようになったので、合わせて進めることにする。タルカスの  
防具は課金の予定だが、リレイヤーはそこまで防具に拘る事もない  
ので、信頼で買える八十防具を使おうと相談している。

四月五日。

朝、狼場でレベル上げをして、タルカスが七十九に上がり、カウ  
ントダウン状態になった。リレイヤーも五時ぐらいまできている。  
四月十一日の夜からしばらくイン出来なくなるので、それまでにとど  
ちらも八十に出来たら理想だが、はたして間に合うか…

## タルカス、リレイヤーが八十に上がる

四月六日。

引き続き狼場でレベル上げ。タルカスが三時半ぐらい、リレイヤーが五時半ぐらいまでできた。やはり七十九のペアで七十九を狩つても中々経験値が上がらない。正直言つて、この調子では十一日までレベル八十到達はきついだらう。予定を元に戻してゴールデンウイークに転職クエを行う様にするか、あるいはもっと経験値の上がる場所に狩り場を移すか、狩りの時間を増やすか…対策は色々考えられるが、結論はまだ出ていない。

四月七日。

引き続き狼場でレベル上げ。タルカスが五時半ぐらい、リレイヤーが六時半過ぎぐらいまでできた。一緒に上げているのにかなり差が縮まっている。一日に書いた、経験値ゲージの進み具合が角度によって違うのではないかという疑問が、ここでまた甦ってくる。特に三時半から五時半にかけての進み具合が異様に早い。ここに差し掛かった時は少し割引して考える必要があるそうだ。

ところで経験値といえば、昨日から一週間、美女木イベントの褒章として経験値取得や生産成功率が二十パーセント上がっているようだ。体感上も心持ち進みが早いのでありがたい。といつてもこれで間に合うかどうかは微妙だが…

四月八日。

引き続き狼場でレベル上げ。タルカスが六時半過ぎぐらい、リレイヤーが八時過ぎぐらいまでできた。このままでは、やはり日曜日にリレイヤーの八十到達は間に合わないかもしれない。寵愛の残り時間も加味して考えると、リレイヤーを先に上げておくべきという考えに傾いている。明日は土曜日ではほぼ一日使えるので、タルカスと

リレの信頼が五十個たまつてスカ系八十装備が揃えられるようになったら、リレイヤーのレベル上げに専念する事に決めた。

四月九日。

夜、リレイヤーが八十に到達した。このレベルを一日で四時間上げるのはかなり大変だったが、なんとか間に合った。

で、八十になったとたんに、石段の上部にクエが発生したという行ってみたら転職の第一段階である八十二騎士を三十匹倒すというクエだった。明日、メンバーを集める事が出来れば始められる。残念ながらわたしは参加出来ないが、なんとか成功してほしい。

また、途中で経験値取得は切り上げたが、タルカスも八時半ぐらいまで来ているので、今月中には上がるだろうと予想している。

四月十日。

わたしが所属するギルドのメンバーであるセイバーさんのご協力を頂いて、わたし自身が石段の上層に登る事が出来た。という事でリレイヤーの転職クエの第一段階である騎士八十二を三十体倒すクエを始めた。のはいいが、予想を超えて騎士が強く、転職前のわたし達三人ではかなりきつい。とはいえ、このクエはかなり長丁場であるため、出来る事ならなんとか一人でやろうと頑張ってみる。二十五体まではいったが、さすがに疲れてきた。すると知りあいの回復さんがパーティー募集のシャウトをしていたので、事情を話して最後の五匹だけ回復を交代してもらい、一時間ほど後にようやく達成。

四月十九日。

八日間の休暇を終えて、今日から再開。

朝までにタルカスの経験値が十時過ぎまで上がった。タルカスは

寵愛がまだ一日半ほど効いている時期が残っているので昼休みと夕方  
方の時間を使って、明日までになんとか八十まで持っていけないか  
と考えていた。だが意外に経験値がスムーズに獲得出来、夜に到達  
してしまった。そういう事なので明日からタルカスも転職クエに入  
る事になる。



## タルカス、リレイヤーが三次職に転職

四月二十日。

今日からタルカスの転職クエスト。第一段階である石段上部で騎士八十二を三十体倒すクエストから始める。リレイヤーの時の経験で勝手は分かっているが、やはり被ダメが相当きつい。スキル攻撃がクリティカルになると、防御力千七百五十オーバーのタルカスでさえ、ヒットポイントが七十パーセント以上削がれる時があるから。毎回PD戦並みに回復を連発しなければならない。しかもクエストの八十二が中々わいてくれず、単なるレベル上げにしかならない八十一が続けて来ると、正直ウンザリするのだが、それでも朝までに、なんとか半分の十五体まで倒す事が出来た。

四月二十一日。

タルカスの転職クエスト続行。第一段階である石段上部で騎士八十二を三十体倒すクエストが無事終わった。次はリレイヤーと一緒にイムサという騎士PDを倒すのだが、これがあちこち移動する相手で、しかもクエストに時間制限があるので、イムサの場所を特定してから受けなければならぬという、やや面倒なプロセスが必要である。どうしようかと思っていたら、今まで騎士八十二を狩っていた石段の下にいた。ここからプロボは届くはずなので、二人に中層までいってクエストを受けて戻ってもらってから、タルカスのプロボで石段の上から釣ってみる。すると見事に届いたので、タルカスが少しずつ後退して相手をおびき寄せ、登ったところで攻撃開始。さすがに強く、タゲをとっているタルカスがたちどころに瀕死に近いところまで体力が減った。大慌てでヒールを掛けまくり、何とか死なせずにイムサを討伐。あとは三連戦と、最後のカンサだけである。二十四日は頑張ろう。

途中でタルカスのギルドのメンバーから、二次職へのエピックエの

手伝いを打診されたので参加。二人がエピソード十三の十八階鍵図を狙っているのだが、三周廻って一周はミスで取れず、あとの二周は鍵図が出なかった。運が悪いというレベルでは無いと思うのだが…

四月二十二日。

タルカスとリレイヤーによる信頼集め兼金策兼レベル上げ。既に二人とも寵愛が切れているが、それでも多少は経験値を獲得し、タルカスが四時過ぎ、リレイヤーが六時過ぎまで進んだ。

四月二十三日。

明日に催行する予定だったタルカスとリレイヤーの転職クエストを、なりゆきで今日進める事になった。ただし当初の予定を変更してわたしが回復をする事になった。かなりきついけど、こうなったらやるだけである。

イムサまでは終わっているけど、まず中層の西側で騎士三連戦をクリア。行くまでが結構大変で、一度引っ掛けてしまい助っ人のアサシンさんが死に戻り。これがあるのでデスペナのある日は避けたいと思ったのだが…その後、再び上層に行ってカンサとの最終決戦。タルカスとリレイヤーとわたし、助っ人のウインドストーリーカー、イリュージョニスト、そしてアサシンが二人。戦力的には凄腕なのだが、それでも相手はさすがに強く、香木を使って防御二千をオーバーしていたタルカスが一度エリクサーをつかうはめになった。かなりグダグダな戦い方になってしまったが、なんとか討伐に成功し、タルカスはセイバーに、リレイヤーはウインドストーリーカーに、それぞれ転職した。

あしかけ四ヶ月にわたる前衛先行転職プランも、今日でようやく一区切りである。今後はわたしとクロス姉の転職を目指す事になる。多分夏には何とか出来るかと思うけど、どうなることやら…

## フラとクロスが七十二に上がる

四月二十四日。

今日からエデル峠に場所を移して、わたしとクロス姉のレベル上げを開始する。始めた時点でどちらもレベル七十一だが、クロス姉が経験値がゼロという状態であるのに対し、わたしはデスペナの紫ゲージが四時半ぐらいまで来てしまっている。そこで同時に狩りを進めつつ、わたしの方はチートボーションを使って経験値の獲得を早め、なんとか差を縮める事にした。今日の狩りが終わった時点で、クロス姉は四時ぐらいまで黄色のゲージを伸ばし、わたしはデスペナの紫を三時十五分ぐらいまで縮めた。

四月二十五日。

エデル峠で、わたしとクロス姉のレベル上げ。あまり時間が取れなかったが、クロス姉は四時半ぐらい、わたしはデスペナの紫が消えてほんの僅か黄色がゲージに表れ始めた。

夜中に、二十一日で失敗したタルカスのギルドのメンバー二人のエピ十三に再挑戦。メンバー編成の関係でエンチャンターのフアラデーに行ってもらう。今度は二周とも、あれほど苦しんだ鍵図が出てしまい、あっけなくエピ十三をクリア。さらにその場でエピ十五まで進んで貰い、十九階のクオックスも無難に倒してクリア。リレイヤーに交代してもらって採掘場経由で空中神殿まで行き、転職ク工を受けてもらう。ただし実際の転職ク工はまた後日となった。

四月二十六日。

エデル峠で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。クロス姉は六時過ぎぐらい、わたしは四時半過ぎぐらいまで進んだ。

夕方、久しぶりにフラシベに参加。今の時点で一番欲しかったチートボーションだったのがあるがたい。早速明日のレベル上げで使

う事にする。

四月二十七日。

エデルル峠で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。クロス姉は七時過ぎぐらい、わたしは六時ぐらいまで進んだ。

四月二十八日。

エデルル峠で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。クロス姉は八時少し前ぐらい、わたしは六時半ぐらいまで進んだ。

四月二十九日。

エデルル峠で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。クロス姉は八時半ぐらい、わたしは七時半ぐらいまで進んだ。

四月三十日。

エデルル峠で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。クロス姉は九時半ぐらい、わたしは八時半少し前ぐらいまで進んだ。

五月一日。

エデルル峠で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。クロス姉はEとXの中間、わたしは九時半少し前ぐらいまで進んだ。クロス姉は明日には上がりそうだ。

五月二日。

朝早く、クロス姉が七十二に上がった。わたしもEの手前ぐらいまで来ているので、早ければ明日には上がるかも知れない。

今日の昼間に定期メンテナンスがあったのだが、そのメンテが明けてみたら、月曜日にも関わらず冥の裂け目にPDが出現していた。ゴールデンウィーク合わせのスケジュール変更らしい。多少時間があつたのでリレイヤーが参加。

五月三日。

昼少し前に、わたしが七十二に上がった。クロス姉ともども、あと八レベルで転職である。夏にはなんとかしたいが、例の震災の影響による停電もあるだろう。うまくやりくり出来れば良いのだが。

## フラとクロスが七十三に上がる

五月四日。

エデル峠で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。クロス姉は五時半過ぎぐらい、わたしは四時過ぎぐらいまで進んだ。

五月五日。

エデル峠で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。あまり時間がとれなかったが、クロス姉は五時四十五分ぐらい、わたしは四時半過ぎぐらいまで進んだ。

五月六日。

エデル峠で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。昨日と同じく、あまり時間がとれなかったが、クロス姉は六時過ぎぐらい、わたしは五時ぐらいまで進んだ。夜、ワラシベだったが、貰えるアイテムが鍵と判明したため、ピンクまで行った段階でストップ。自愛かチートポーションの時に速攻で交換しようと思う。

五月七日。

エデル峠で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。クロス姉は七時少し前ぐらい、わたしは六時少し前ぐらいまで進んだ。なお、今夜は力の間だったが、夕方の裂け目での人数からして、当選率は低いと考え、志願せずにログアウト。あまり前向きな行動ではないが、ここまで落選つづきだと、いい加減ネガリたくもなる。まあ実際は夜に用事もあったからだが…

五月八日。

エデル峠で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。クロス姉は八時少し前ぐらい、わたしは七時少し前ぐらいまで進んだ。

五月九日。

エデル峠で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。クロス姉は九時少し前ぐらい、わたしは八時少し前ぐらいまで進んだ。大体このペースで上げていけば、今月中に七十四になれる計算だ。まあ予定外の何かが起こらなければの話だが。

五月十日。

エデル峠で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。クロス姉は九時半少し前ぐらい、わたしは八時四十五分ぐらいまで進んだ。

五月十一日。

エデル峠で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。クロス姉はEの後半まで来た。明日には上がれると思う。わたしも九時半過ぎぐらいまで進んだ。

五月十二日。

朝、クロス姉がレベル七十三に上がった。これで同じ相手と戦っても上がり方は鈍くなるが、逆に命中率はかなり良くなるので、差し引くとそう悪くはない。とはいえやはり、より高レベルの相手と戦う方が望ましいだろう。わたしもEに掛かり始めていて、早ければ明日にも上がるだろうから、そうなったら場所の移動を考えてみる。

五月十三日。

朝、わたしがレベル七十三に上がった。これで今月の目標である七十四まであと一レベルである。クロス姉も四時ぐらいの方向まであがっている。

## フラとクロスが七十四上がる

五月十四日。

今日から、峠の北方、石碑のすぐ近くに移動して、リザードハンター七十四が沸く場所で狩り始める。わたしとクロス姉が七十三に上がったので、リザード七十四のクエストが出来る様になったためだ。タルカスやリレイヤーの時はパスしていたクエストだが、リザードだとクロス姉のファイヤーボール4が効果的なので、今回は活用する事にする。わたしは四時少し前、クロス姉は五時半ぐらいの方向まであがった。

五月十五日。

エデル峠北方で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。クロス姉は六時過ぎぐらい、わたしは五時少し前ぐらいまで進んだ。

五月十六日。

エデル峠北方で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。クロス姉は七時ぐらい、わたしは六時過ぎぐらいまで進んだ。

五月十七日。

エデル峠北方で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。クロス姉は七時半ぐらい、わたしは六時半過ぎぐらいまで進んだ。その後城砦で骨クエを一周分やって金策をしたあと、塔の七階まで上がってラムーネを購入し、今夜催行予定のワラシベの準備を整える。スタートが九時で、かなり遅かったが、アイテムが慈愛だったので正直助かった。

ところで、昨日から始まった対人戦闘のテストだが、どう考えても後衛向きでは無いので、わたしとクロス姉は参加をパスして、最



初にタルカス、二回目にリレイヤーが参加した。今日はレベル五十キャップで、五十槍の無いリレイヤーは四十槍で参加したが、五十武器のリミットブレードを持って参加したタルカスより遙かに戦いを有利に進める事が出来た。以前から仲間内でウワサしていた通り、このコンテントは圧倒的にレンジャー、ウインドストーカーが有利だと思える。今日は七十キャップだが、はたしてどうなるか…

五月十八日。

エデル峠北方で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。クロス姉は八時ぐらい、わたしは七時過ぎぐらいまで進んだ。

夜、何故か対人戦闘に参加出来なかった。IDとパワードの入力画面まではいけるのだが、何度入力してもサーバへのアクセスに失敗してしまう。残念ながらあきらめるしかなかった。

五月十九日。

エデル峠北方で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。クロス姉は八時四十五分ぐらい、わたしは八時前ぐらいまで進んだ。

五月二十日。

エデル峠北方で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。クロス姉は九時十五分ぐらい、わたしは八時半過ぎぐらいまで進んだ。本当はもうすこし進んでいたのだが、城砦の骨PD戦で二人とも死んでしまったため、三十分ほど巻き戻るといふ残念な結果となる。

五月二十一日。

エデル峠北方で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。クロス姉は十時過ぎぐらい、わたしは九時過ぎぐらいまで進んだ。

五月二十二日。

朝、クロス姉がレベル七十四に上がった。わたしもEの後半まで来ているから、早ければ明日には上がるだろう。

ところで、メイ職が七十四になると、キャスティングEというパツプスキルが習得出来る。巷間伝えられている様に、これはバフ主体のエンチャンターノイリユージョニストよりも魔法攻撃主体のソーサラーノークメイジの方に大きな意味がある。クロス姉も早速習得して強化ごとに確認してみた。あまり正確とは言えないが、ストップウォッチを使って計測したところ、一強化ごとに十分の一秒キャストタイムが縮むという感じだ。ランク四まで上げてみると、今まで二秒掛かっていたファイヤーボールも、1・6秒ぐらいで撃てるようになったという。

「悪くないわね。出来ればもうすこし縮まると良かったけど、これとレベル七十七で習得出来るバーストキャストイングを組み合わせれば、かなり素早く魔法攻撃が撃てるようになる。攻撃優先メイジにはかなりありがたいスキルだと思うわね」

確かに魔法のキャストタイムに手をやいているメイ職は多い。地味だがこのスキルは注目してよいだろう。

五月二十三日。

Eデル峠北方で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。あまり時間がとれず、わたしはXの後半、クロス姉は三時十五分ぐらいまでしか進まなかった。

五月二十四日。

朝、わたしがレベル七十四に上がった。今月末までに七十四到達という目標は、かなり余裕をもってクリア出来たのでありがたい。今月中にあげられるだけ上げたいと思う。その後七十四クエストをこなしたところ、クロス姉は四時半ぐらい、わたしもゲージに黄色がちょっと表れるところまで進んだ。

## フラとクロスが七十五上がる

五月二十五日。

本日から、狩り場を移動して石段の雷神守護兵及び兵長七十五ノ七十六の狩りを開始する。峠のリザード七十三ノ七十四では経験値の取得量が悪いので、より高レベルな相手にシフトする事にしたのだが、同じ峠にいるサソリは火耐性があるので、現在はファイヤーボール4を攻撃の主軸にしているクロス姉が思うようにダメージを与えられない。そこで色々検討した結果、石段入り口付近にいる守護兵を標的に定めた。確かに強くてフラフラのデバフもあるのだが、火耐性はゼロだし、何よりも倒すと得られるギルダは五百銅平均で、しかも即効中や風中原石のドロップがありがたい。

とは言え、効率がどの程度かは実際にやってみないと分からないので、しばらく続けてみる。タルカスへの被ダメがかなりきついがさすがにセイバーだけあって問題は無い。プロボ4を二回、5を三回撃ってそのままペチペチに移行し、タゲ保持をしてもらえば、あとはクロス姉のファイヤーボール4の連打で十分倒せる相手だと判明。経験値の方もわたしが四時ぐらい、クロス姉が五時半ぐらいとそこそこ入るので、金策も兼ねてこのままここでレベル上げを続行する事にした。

五月二十六日。

石段の守護兵場で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。わたしは四時半すぎぐらい、クロス姉は六時すこし前ぐらいまで上がった。

五月二十七日。

石段の守護兵場で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。わたしは六時少し前ぐらい、クロス姉は七時少し前ぐらいまで上がった。

た。今のところ順調に上がっていると感じられる。

五月二十八日。

石段の守護兵場で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。わたしは六時過ぎぐらい、クロス姉は七時十五分ぐらいまで上がった。

五月二十九日。

石段の守護兵場で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。わたしは七時半ぐらい、クロス姉は昨夜一度タゲがハネてデスペナを食らってしまったが、それでも八時過ぎぐらいまで上がった。

五月三十日。

石段の守護兵場で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。わたしは八時半過ぎぐらい、クロス姉は九時まで上がった。なお、レベル上げの途中でクロス姉の慈愛が切れた。わたしはまだ三日ほどあるので、クロス姉に、経験値のゲージが同じくらいになるまで慈愛の再使用を待ってもらうことにした。多分明日か明後日までには並ぶと思うのだが…

五月三十一日。

石段の守護兵場で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。何故か最初入る事が出来ず狩りの時間が多く取れなかったが、それでもわたしは九時少し前ぐらい、クロス姉は九時十五分ぐらいまで上がった。

六月一日。

今日はレベル上げでは無く、知人の誘いで二十〜二十四階のエンigma解きに挑む事になった。狙うのはやはり二十四階で「製作図・高級精神回復剤」。自作出来ればあり難いし、露店に出してもかなりの高値になる。ただしそれだけに、もちろんおいそれとは出

てくれない代物で、なにより二十四階のエニグマが時間がかかるし面倒くさい。今回もやはりダメだった。二十階で金マト攻+が出てくれたのがせめてもの救いだ。

六月二日。

石段の守護兵場で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。時間が足りず、わたしは九時半過ぎぐらい、クロス姉は十時過ぎぐらいまでしか上がらなかった。

六月三日。

石段の守護兵場で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。わたしは十時半ぐらい、クロス姉はEの後半まで上がった。早ければクロス姉は明日。わたしも遅くてもメンテナ前には七十五に上がれるだろうと予想している。経験値の上がり具合がだいぶ緩慢になってきたが、今月中の目標は七十六なので、クリアはそれ程難しくなさそうだ。

六月四日。

朝の狩りで、クロス姉がレベル七十五に上がった。わたしも経験値のゲージがPまで来ているので、夕方に入って狩りを続け、丁度夕食前に七十五にあがる事が出来た。

六月五日。

珍しく野良パーティーに参加。あまり見知った顔はいないが、回復がないというのはやはりきついし、四人パーティーではあと一人いれないとパーティーボーナスがもつたいたいと考え、わたしが参加。二時間あまりで四時過ぎの方向まであがった。クロス姉と差がついてしまったが、あとでパーティー編成を工夫して狩れば火力職に経験値を集中させるのは簡単なので、わたしが上に行くのは問題にならない。いずれにせよ二人ともあと1レベルで鼻に入れるし、

石段も登れる。それを励みに頑張ろうと思う。

## フラとクロスが七十六に上がる・石段到頂成功

六月六日。

タルカスが所属するギルドのメンバーであるドルさんが二次職への転職を進めたいというので、最初の三体にリレイヤーが、加えて最後のソウルオブラビリンズでタルカスがクエパーティーに参加。岩穴や運命に行くのも久しぶりだが、この辺は流石にウインドストーカーのリレだけで十分だった。ただしラビリンズはかなりダメがきついのと、何より転倒が長いのでタルカスがタゲを取る事になった。リレは一人でやりたがっていたが、まあソウルオブラビリンズだけは用心に越した事は無いとわたしが提案。無難にクエをクリアする事が出来た。

リレも最終的には同意したが、それでもまだ、一人でできたのに…と言いたそうな表情だったので、

「まあ、今度デスペナの無い日に、人がいない時間を選んでソロ狩りしてみたら？ それで狩れたら、今度は一人でやってみればいいと思う」

と提案したら、納得したようにうなづいた。くれぐれも転職クエをやっているプレイヤーの邪魔にだけはならない様に祈るだけだ。クエのあと、石段でわたしとクロス姉のレベル上げ。それほど時間がかけられなかったが、クロス姉が三時半少し前、わたしが四時半過ぎぐらいまで上がった。

六月七日。

石段の守護兵場で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。わたしは五時半ぐらい、クロス姉は四時すぎぐらいまで上がった。

六月八日。

石段の守護兵場で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。わ

たしは六時すぎぐらい、クロス姉は五時すぎぐらいまで上がった。

六月九日。

石段の守護兵場で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。わたしは六時半すぎぐらい、クロス姉は六時ぐらいまで上がった。やはり同格に近い相手だけあってなかなか上がりにくい、ドロップアイテムはかなりよいので、火炎攻撃主体のクロス姉が七十六に上がるまでの狩り場としては最適だ。

六月十日。

石段の守護兵場で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。わたしは七時ぐらい、クロス姉は六時十五分ぐらいまで上がった。

六月十一日。

石段の守護兵場で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。わたしは七時半すぎぐらいまで上がったが、クロス姉は一度デスペナを食らってしまった、なんとかそれを取り戻すのが精一杯だったため、六時十五分ぐらいのままである。同格にスキルクリ一発で瞬殺される危険性は、以前から相変わらずだ。ソロでのレベル上げがよほどうまくやらない限り無理となったメイ系が少ないのも、こういった点が反映しているのではないだろうか？

六月十二日。

石段の守護兵場で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。わたしは七時四十五分ぐらい、クロス姉は六時四十五分ぐらいまで上がった。

六月十三日。

石段の守護兵場で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。わたしは八時十五分ぐらい、クロス姉は七時すぎぐらいまで上がった。



夜八時からのワラシベに参加。貰えるアイテムが慈愛と分かったので、上手くやりくりして、わたしとクロス姉が慈愛を一個プラス三日延長、あわせて実質2つ獲得。

六月十四日。

今日から、狩り場をすぐ近くのクリフワーム七十七／七十八生息場所に変更した。ドロップアイテムは木材主体であり美味しいとは言えないが、昨夜のワラシベで慈愛が手に入ったのと、守護兵七十五／七十六での金策が一段落した事もあって、しばらくはレベル上げ優先で狩りをする事になる。わたしは九時少し前ぐらい、クロス姉は七時半すぎぐらいまで上がった。

六月十五日。

石段のクリフワーム場で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。わたしは九時半過ぎぐらい、クロス姉は八時半少し前ぐらいまで上がった。大分調子が出てきたのでまた夕方に続行しようと思っていたら、闘技場の分割ファイルのパッチが当たったメンテナが不調で、二十三時四十分まで臨時メンテナが続いたため、結局夕方の狩りは中止。

六月十六日。

石段のクリフワーム場で、ひき続きわたしとクロス姉のレベル上げ。わたしはEまであと僅かという位置まで、クロス姉は九時過ぎぐらいまで上がった。今日は木曜日なので、もしかしたら、わたしのレベル七十六到達が、次の日曜日に間に合うかもしれない。デスペナが無い日曜日でないとい石段登りの助っ人を頼みづらいので、出来ればなんとか間に合わせたい。

六月十七日。

朝早く、わたしが七十六に上がった。クロス姉も十時半ぐらいま

で来ている。前半が守護兵狩り中心だったため、今回は1レベル上がるのに十三日かかった。今後は経験値獲得の方に力をいれようと思う。クロス姉は二回のデスペナが響いてわたしと大分差がついてしまったので、うまく経験値の振り分けをやりとりして、差を縮めたいと思っている。クロス姉が上がり次第、峠に戻って鼻クエを始めようと思う。

六月十八日。

朝早く、クロス姉が七十六に上がった。峠の方のクエが受けられる様になったので、いったん移動してわたしとクロス姉が試験クエを開始。第一段階のドレイク七十三を十匹と、第二段階のサソリ七十六はに問題なかったが、最終試験のビーストティマーは流石にきつい。おまけに召還は三度に渡って出るから、前衛のタルカスは大忙しである。こちらでも召還の合間をぬってなんとか回復や攻撃魔法で支援するが、一歩間違えると召還のタゲがくるのでタイミングが難しい。そんな訳で時間はかかったが、なんとかクリア。炎神の鼻に入れるようになった。タルカスやリレイヤーから聞いてどんなものかは知っていたが、やはり不気味なダンジョンである。フレアデーモン七十七クエを受けた後、テストとして近隣のモンスターと戦ってみる。赤い大スライム七十六とバンパイア系七十六そしてクエ対象であるデーモン七十七を相手にしてみたが、なんとか戦えると判明。

午後からクエ開始。五時間かかったが何とかデーモンの大角四十個を集め、タルカスとクロス姉、そしてわたしが七十七スキルを手に入れる。リレイヤーは既に手に入れているので、これで第一世代の四人が全員揃って七十七スキルを手に入れることが出来た。もっともわたしとクロス姉はもうしばらくお預けだが…

六月十九日。

ちょうどデスペナが無い日なので、わたしとクロス姉が石段の上

段まで登る事にする。以前はギルドのメンバーが護衛についてくれたが、今回はそれぞれ一人だけで行く事にした。お互い後衛で、一匹でも見つかったら最後だという緊張感のもと、用心しながら進んでいき、うまい具合にどちらも一回で上段まで到達。上段で報告を済ませると、石段を自由に跳躍出来る様になった。ようやくひと段落である。ここまで来たのだからと、ついでにカンサの顔を見に行く。タルカスやレイヤーから様子は聞いていたが、流石に強そうだ。しかしあと4レベルで戦う事になる相手でもある。覚悟を決める必要があるそうだ。

下段まで戻って、受けられるようになったクリフワームの繰り返しクエを受諾。これで、今までレベル上げと金策でしかなかったワーム狩りが、信頼+ギルダ報酬集めとしても機能する。七十七になって新たな信頼クエが受けられるまではワーム狩りを続けることになるだろう。今日はクエを二周して信頼を各八個獲得、経験値も四時過ぎぐらいまでであった。

## フラとクロスが七十七に上がる

六月二十日。

石段で引き続きワームクエ兼レベル上げ。時間が無くて一周半しか出来なかったが、経験値は二人とも五時ぐらいまで上がった。

六月二十一日。

石段で引き続きワームクエ兼レベル上げ。経験値は二人とも五時半ぐらいまで上がった。

六月二十二日。

石段で引き続きワームクエ兼レベル上げ。経験値は二人とも六時ぐらいまで上がった。慈愛の効果時間にズレがあったため、わたしの方が少し進んでいる。

六月二十三日。

石段で引き続きワームクエ兼レベル上げ。体調があまり良くなく、早々に切り上げた為、経験値は二人とも六時過ぎぐらいまでしか上がらなかった。夕方からワラシベ。今回はチートポジションだった。

六月二十四日。

石段で引き続きワームクエ兼レベル上げ。経験値はわたしが七時少し前ぐらい。クロス姉が六時半過ぎぐらいまで上がった。夜、バビリムマーケットが開催されたので行ってみる。オークションに出たチケットのグレードアップセットが欲しかったが、とても手が出ない価格に競り上がったので入札せずじまいとなる。

六月二十五日。

石段で引き続きワームクエ兼レベル上げ。経験値はわたしが七時

半少し前ぐらい。クロス姉が七時十五分ぐらいまで上がった。

六月二十六日。

石段で引き続きワームクエ兼レベル上げ。経験値はわたしが八時少し前ぐらい。クロス姉が七時四十五分ぐらいまで上がった。

六月二十七日。

石段で引き続きワームクエ兼レベル上げ。経験値はわたしが八時半少し前ぐらい。クロス姉が八時十五分ぐらいまで上がった。

六月二十八日。

石段で引き続きワームクエ兼レベル上げ。経験値はわたしが八時四十五分ぐらい。クロス姉が八時半過ぎぐらいまで上がった。個人的な理由で昼と夕方にログイン出来ず、上がり方が遅いが、まあ焦っても仕方が無いので一歩ずつ進もうと決めている。

六月二十九日。

石段で引き続きワームクエ兼レベル上げ。経験値はわたしが九時ぐらい。クロス姉が九時五分前ぐらいまで上がった。

六月三十日。

今日は知人のエピックエの手伝いのためレベル上げはしなかった。

七月一日。

石段で引き続きワームクエ兼レベル上げ。経験値はわたしが九時半過ぎぐらい。クロス姉が九時半ぐらいまで上がった。

七月二日。

朝、フレの誘いで二十階、二十四階に行った。二十四階のミニグマはなかなかタイミングが難しいが、それでもなんとかクリア。た

だし残念ながらレア図は出ず仕舞い。夕方になって、石段でワームクエ兼レベル上げ。経験値はわたしが十時半過ぎぐらい。クロス姉が十時半少し前ぐらいまで上がった。

七月三日。

朝、石段で引き続きワームクエ兼レベル上げ。わたしがXにかかりはじめた。クロス姉もEの真ん中ぐらいまで上がっている。日曜日なのでこの際一気に上げてしまおうと狩りを続行。昼近くに少し時間差をおいてわたしとクロス姉の両方が七十七に上がった。これで狼クエが受けられるようになった。対象は七十九狼なので、より効率的なレベル上げが可能だ。

三次職への転職が可能なレベル八十まであと三つである。

## フラとクロスが七十八に上がる

七月四日。

今日から狼クエ。狼は攻撃力が強いという以外これといった特徴は無いし、ワームと同様火耐性が無いのでありがたい。さらに七十と七十八のどちらかが抽選で沸くワームと違って、こちらはクエ対象の七十九だけしか沸かないから、信頼集めの効率も良い。今日は二周して、ゲージに少し黄色が出始めたところまで進めた。

七月五日。

石段で狼クエ。その直前にショートカットのスキルわり振りを換えていたのに、うっかり忘れたまま狩りに戻ってしまい、クロス姉にタゲが飛んで死に戻り。おかげでわたしが四時ぐらいまで進んだのにクロス姉は三時十五分ぐらいまでしか行かなかった。暑さのせいにも直前に塔に誘われた事にも責任転嫁出来るが、要するに自分が迂闊だっただけである。猛省。

夜八時からワラシベ。今回は慈愛だった。順番からすると鍵のはずなのだが…まあ、もちろん慈愛の方が使えるのでありがたく交換してもらおう。

七月六日。

石段で狼クエ。わたしが五時半過ぎぐらい、クロス姉が五時過ぎぐらいまで上がった。十七日と十八日が連休なので、ここまですんなり上がれないかと考えている。

七月七日。

朝、フレの誘いで二十五階〜二十八階に行ったためレベル上げは無し。

七月八日。

石段で狼クエ。わたしが六時過ぎぐらい、クロス姉が六時少し前ぐらいまで上がった。

七月九日。

引き続き石段で狼クエ。今日は時間がとれたのでわたしが七時半ぐらい、クロス姉が七時ぐらいまで上がった。それと、ようやく信頼がそれぞれ二百七十個たまったので、石段上部で八十装備を購入する事が出来た。課金よりはそう脳の面ですこし劣るわけだが、今までの流れからして、課金防具だろうがNPC防具だろうが同格以上のモンスターからスキルクリで攻撃されたら瞬殺されてしまうだろう。そういう訳で課金は前衛だけで十分と判断。後衛のわたしたちには必要無いと結論しての購入だ…とは言っても、やはりある程度の強化は必要だろう。

七月十日。

引き続き石段でレベル上げ兼狼クエ。わたしが八時十五分ぐらい、クロス姉が七時四十五分ぐらいまで上がった。午後、レイヤーがコメントボードに出ていた二次職の転職手伝いに参加。運命とラビの転職PDと戦う。召還も含めて戦力的にはレイヤーだけで問題は無いそうだ。

「でも、やっぱり転倒はめんどくさいわね。防御力はともかく、成す術も無く伸びてる間はストレスがたまるわよ」

という事だが、実は今日、同じ様な事をタルカスも言っていた。日曜日でデスペナの無い日なので久しぶりに石段にいる守護兵と守護士八十〜八十二を相手に狩りをしたのだが、そのスキル攻撃が、短時間ながら朦朧もつろうを伴うので、それが醒める度にタルカスの自動攻撃モードを起動しなおさなければならぬ。このタイミングがうまく行かず、火力担当のクロス姉にタゲが移ったらおそらく瞬殺されるだろう。今回はそれが無かったし、あつたとしてもデスペナ無し



なので安心だったが、今後わたし達のレベルが上がっていけば、守護兵がメインの相手となり、デスペナありの平日も狩りをするのであれば、この状況になれる必要がある。

「とにかく、あの朦朧となるタイミングは要注意よね。しかも数回連続なんて事もあるから、緊張感を切らさないようにしないと。姉さんたちはとにかく死なない様に気を付けてね」

というタルカスの言葉通り、わたしたちも転職に向けて更なる覚悟が必要だと感じている。

七月十一日。

引き続き石段でレベル上げ兼狼クエ。わたしが九時十五分過ぎぐらい、クロス姉が九時少し前ぐらいまで上がった。

七月十二日。

引き続き石段でレベル上げ兼狼クエ。わたしが十時十五分過ぎぐらい、クロス姉が十時少し前ぐらいまで上がった。

七月十三日。

引き続き石段でレベル上げ兼狼クエ。わたしがXに、クロス姉がEに掛かり始めた。わたしの方はなんとか明日には上がれそうである。

七月十四日。

朝、わたしが、一時間ほど遅れてクロス姉が七十八に上がった。一旦石段の中段に戻って新しい繰り返しクエを受ける。

## フラとクロスが七十九上がる

七月十五日。

引き続き石段でレベル上げ兼狼クエ。神軍兵七十八のクエは昨日受けたのだが、かなり厳しいのでしばらくキープしておく。それでも昨日のワラシベで手に入れたチートポーションを活用して、わたしもクロス姉も、おおよそ四時十五分と三十分の間ぐらいまで進んだ。

七月十六日。

引き続き石段でレベル上げ兼狼クエ。あまり時間がなかったが、わたしが五時過ぎぐらい、クロス姉が五時少し前ぐらいまで上がった。夜、侵攻キャンペーンのイベントに基づいてタルカスがギルメオンと塔のエニグマ解読に参加。1階から二十九階まで連続して解き、大体三十六ぐらいまで獲得した。もうあと少しやれば四十階侵攻が手に入るそうだ。

七月十七日。

引き続き石段でレベル上げ兼狼クエ。わたしもクロス姉も大体五時四十五分過ぎぐらいまで上がった。どうも経験値ゲージの進み方が、この六時付近だと緩慢になるので差が縮まるように見える。気のせいなのだろうか…

七月十八日。

引き続き石段でレベル上げ兼狼クエ。時間が無かったが、わたしもクロス姉も大体六時過ぎぐらいまで上がった。今日から明日にかけて外出するので、その間はログイン出来ないが、出来れば夜のワラシベには戻りたいと思っている。

七月十九日。

都合で朝のレベル上げ出来ず。夜にワラシベ。貰えるアイテムが鍵だったので今回は交換はパス。

七月二十日。

引き続き石段でレベル上げ兼狼クエ。わたしもクロス姉も大体六時半ぐらいまで上がった。

七月二十一日。

引き続き石段でレベル上げ兼狼クエ。わたしもクロス姉も大体七時過ぎぐらいまで上がった。もう少し狩りを続けたかったが、中の人が少し体調を崩しているので自重。

七月二十二日。

引き続き石段でレベル上げ兼狼クエ。わたしもクロス姉も大体七時四十五分ぐらいまで上がった。

七月二十三日。

引き続き石段でレベル上げ兼狼クエ。わたしもクロス姉も大体八時四十五分ぐらいまで上がった。かなり調子が良い。一昨日から始まったアヌの夏で取得経験値が六十パーセント上がっていることも手伝っているのだろう。今月中に七十九はなんとかいけそうだ。

七月二十四日。

知人の協力が得られたのでタルカスが三十階〜三十三階までのエニ出しを行う。おそらくこれで四十階侵攻キャンペーンはクリア出来たと思う。わたしとクロス姉のレベル上げは少し時間がなかったため九時少し前までしか進まなかった。

七月二十五日。

引き続き石段でレベル上げ兼狼クエ。わたしもクロス姉も大体九時半過ぎぐらいまで上がった。

七月二十六日。

朝、わたしがとクロス姉の経験値がPにかかった。昼過ぎに再開し、なんとかどちらも七十九に上がる事が出来た。念願の三次職への転職クエ開始まであとひとつ。いよいよカウントダウンの開始である。

## フラとクロスが八十に上がる

七月二十七日。

引き続き石段でレベル上げ兼狼クエ。あまり時間が取れず、さらにレベルが七十九になって取得経験値量が下がった事もあって、わたしもクロス姉も三時半少し前ぐらいまでしか上がらなかった。だが、焦ってデスペナを貰ってもつまらない。ここは大事に行こうと考えている。

夕方、タルカスのアイテム・ボックスに侵攻が五階から四十階まで全て振り込まれていた。三十五階と四十階は、わたしたち姉妹が未だ誰も行った事がないので、今から楽しみにしている。

七月二十八日。

引き続き石段でレベル上げ兼狼クエ。わたしもクロス姉も四時半少し前ぐらいまで上がった。

七月二十九日。

石段で知人の三次職転職クエの手伝い。神軍守護士八十二を三十一体倒すやつだ。わたしの方も守護兵八十の繰り返し兼レベル上げになるのでありがたい。明け方までやって、わたしもクロス姉も五時半過ぎぐらいまで上がった。ただ八十二が出にくかった事もあり、知人のクエアイテムは結局二十個までしか貯まらなかった。普段余計な場面では出まくるのに……まあ、えてしてそういうものかも知れない。

夜の八時からワラシベ。今回は予想通り慈愛なのでわたしとクロス姉がうまく立ち回って二つずつ手に入れた。

七月三十日。

引き続き石段でレベル上げ兼狼クエ。わたしもクロス姉も六時半

少し前ぐらいまで上がった。

七月三十一日。

今日はデスペナが無いので守護兵場に行く。わたしもクロス姉も朝までに七時十五分ぐらいまで上がった。日曜日で午後に時間が空いたため、引き続き守護兵相手にレベル上げ。七十九狼よりもリスクは大きいのが、明らかに経験値の取得量が多い。結局夕方までに八時過ぎまで上がった。デスペナ無しという事で守護兵狩りをしたが、ここまで経験値の量が違つと、デスペナのリスクを考慮してもこちらでレベル上げをした方がよさそうだ。

八月一日。

昨日の考えに基づき守護兵場でレベル上げ。九時十五分ぐらいまで上がった。いよいよあと1/3レベルだ。このペースなら、何か問題が無い限り今週中には八十には上がれるだろう。

八月二日。

朝、ついにクロス姉が、数匹差でわたしが八十に上がった。予定より一ヶ月も早く八十に到達できたのはありがたい。早速二人揃って転職クエを受け、神軍守護士八十二を三十体倒すクエストに入る。それと、二人とも用意しておいた八十スキルを習得。わたしはポディーアクティベーション3、クロス姉はブリザード2が使えるようになった。わたしの方はかなり良い手ごたえを感じたが、クロス姉は、ランク4まで上げたブリザード2の威力がファイヤーボール4の5とそれほど変わらないので首をかしげている。もしかしたら神軍守護士は水耐性があるのだろうか？ クエストが終わつたらとりあえず水耐性がないと判明しているモンスターを相手にしてみる、と言っている。

## フラとクロスが転職・タルカスが八十一に上がる

八月三日。

記念すべき日となった。わたしがビシヨップに、クロス姉がアイクメイジに転職した日である。経緯は以下の通り。

朝、石段で転職クエストを本格的に開始。第一の試練として、神軍守護士八十二を三十体倒すクエストから始める。だが、七十九狼などと違って八十と八十一の神軍兵、そして八十一と八十二の神軍守護士など色々取り混ぜて沸くので、中々貯まらない。それでも朝は二十三個まで行けた。出来れば今日中に第一の試練は済ませておきたいと考えていたので、夕方の四時からログイン出来る様にスケジュールを調整し、何とか五時前に三十個に到達した。そこに丁度、わたしの所属するギルドのメンバーから助っ人の打診があったので、それじゃ一気にやってしまおうと方針を変更。三次職である二人の助っ人とともにイムサ、三連戦、そしてカンサと続けて打破し、無事に転職を成し遂げる事が出来た。

だが、よりによって同じ日、落ち込む様な知らせも届いた。夕食の後、わたしとクロス姉が八十装備を整えているちょうどその時、ゲーム内のフレの中でもなかり親しかった人が、この世界からいなくなるお知らせしてきたのだ。アカウントもキャラも残しているからしばらくすればまた帰ってくる可能性もあるかもしれないが…

このゲームを始めて約二年十ヶ月。始めた当時はレベル四十台がカンストで、それでも始めた当時のわたし達にとっては雲の上の存在だった。こうしてレベル八十になり、四人そろって最高職の入り口にたどり着いてみると、その頃の事がしきりに思い出される。なんか始めたのがつい最近の様な気もしてしまうのだが…

様々な紆余曲折があり、色々仕様も変更され、その度に一部のユーザーからボロクソに言われつつ、なんとか続いているこのゲーム。最近も運営に深刻そうな変化が起こったばかりである。今後ど

うなるかわからないが、少なくともわたしは今やめる気は無い。ここまで来たのだから、続けられるところまで続けてみようと考えている。

八月四日。

引き続きカンスト目指してレベル上げ。あくまでも憶測に過ぎないが、二十一階と羽2の関係から、まだ解放されていない四十一階のエンigmaに羽3が隠されているのでは無いだろうか。という噂がしきりに飛び交っている。とすれば、この夏中にキヤップが八十五まで解放されると予告されている以上、実行されたらすぐに四十一階に行ける様にしておいた方が良さだろう。そういう訳で引き続きレベル上げ。今回からは同レベルとなったタルカスも経験値が入るようにパーティーを組むようにした。朝の狩りが終わった時点で、タルカスが六時半過ぎ、わたしが五時ぐらい、途中で火力確認のためしばらくリレイヤーと交代していたクロス姉は四時半過ぎまで上がった。まあ火力職は経験値を集中させられるので、場合によってはまたパーティー編成を工夫してクロス姉のレベル上げを優先させれば良い。

八月五日。

わたしとクロス姉、そしてタルカスで引き続きレベル上げ。タルカスが七時過ぎぐらい、わたしが六時少し前、クロス姉が五時半過ぎぐらいまで上がった。

八月六日。

引き続きわたしとクロス姉、そしてタルカスでレベル上げ。タルカスが八時ぐらい、わたしが六時半過ぎ、クロス姉が六時半ぐらいまで上がった。ここで丁度、わたしとクロス姉の慈愛が切れたので、クロス姉とリレイヤーが火力担当を交代。まずこの三人でカンストを目指す事にする。というのは騎士に対するクロス姉の与ダメが想



像以上に大きいので、タルカスのプロボとの兼ね合いで簡単に経験値を集中出来る事が判明したからだ。対するリレイヤーは、特に神軍守護士の防御力と耐性の関係で、現在の狩り場での与ダメが意外に小さい事が分かった。そのため、むしろわたし達と同時に経験値を取得した方がやりやすいと判断したのだ。

クロス姉より与ダメが小さいといわれてリレイヤーはいささか不満そうだが、相手や攻撃方法によってはそうなるというだけの話だ。別にどちらの職が優れているという訳では無い。無論リレもその事は承知しているらしく、あまり長くグズグズは言ってなかったが。

八月七日。

わたしとタルカスとリレイヤーでレベル上げ。タルカスが九時少し前ぐらい、わたしが七時半少し前、リレイヤーが七時過ぎぐらいまで上がった。

八月八日。

引き続きわたしとタルカスとリレイヤーでレベル上げ。タルカスが九時十五分ぐらい、わたしが八時過ぎ、リレイヤーが八時少し前ぐらいまで上がった。

八月九日。

引き続きわたしとタルカスとリレイヤーでレベル上げ。タルカスがEまであと2ミリぐらい、わたしが九時少し前、リレイヤーが八時四十五分ぐらいまで上がった。タルカスは、早ければ明日の朝ぐらいにはあがるかも知れない。

八月十日。

朝、引き続きわたしとタルカスとリレイヤーでレベル上げ。もうすこし長くやりたかったのだが、何故かルータの調子がよくなかったので初期化等色々と時間をとられ、いつもより二時間近く遅れて

スタート、その為タルカスの経験値はPにかかったところまでしか上げられなかった。今日はメンテナンスで昼休みに入れないし、残念だが夕方まで待つしかなさそうだ…と思っていたら、夕方のメンテナンス明けで、二十四日のメンテナンス前までにキャラを八十一にしたアカウントはグレードアップチケット三種類が貰えるというキャップ開放に絡んだキャンペーンをやっていた。なんとまあ運の良い事だろう。しかし、そうなるとキャップ開放は早くとも二十四日のメンテナンスという推理が出来る。二十四日までに全員カンストは無理だろうから、四十一階に登るのは解放してからしばらく経ってからという事になりそうだ。

それはそもかく、タルカスを八十一にするためログインしてレベル上げ。モンスター何匹かで八十一にあがった。なお、わたしもトータルでは九時半少し前、リレイヤーも九時過ぎぐらいまで上がった。

## 4人全員が81にあがる/対PD戦

八月十一日。

今日から実験的に、四人揃っての狩りを始める。色々和不都合もあるが、タルカスを除く三人がうまく経験値を割り振るための方策である。午前の狩りで、わたしはEの真ん中まで来た。早ければ明日には上がるかもしれない。リレイヤーも十時ぐらい、クロス姉も七時過ぎぐらいまであがった。このままみんな八十一までうまく上がれる様に調整しながら狩りを進めていく事になる。

八月十二日。

昼過ぎ、リレイヤーが八十一に上がった。クロス姉も九時半ぐらいまで来ている。今後は取得出来る経験値が全てクロス姉に入る様に編成を替えるので、うまく行けばこの週末には四人全員八十一になれるだろう。

八月十三日。

朝、クロス姉が八十一に上がった。これで四人全員八十一である。もともと全員レベルアップしたばかりという状態なので、カンストは実質もう1レベル上げなければならぬが、しかしまあ、最高レベルである事にはかわりは無い。という事で全員でカンサ前に集合して記念撮影、その後解散。

八月十四日。

朝、四人で少しレベル上げ。全員の経験値ゲージに僅かに黄色が見え始めたので、このまま石段で兵士相手に狩りを続けてもカンストまでいけるかどうか確認が出来た。明日から改めて続行するとして、今日はデスペナの無い日曜日なので、以前から考えていた3P CによるPD狩りを実施。目標はキシユアの北東の坂の途中にいる

『アサツグポイントマン』、そして石段への連絡道の近くにいる『迅雷の守護者』である。

まずはオーガPDのアサツグポイントマン。オーガ場の一番手前の左サイドにいる雑魚を倒して道を開いた後、タルカスが奥まで突入してプロボで坂道まで誘引。わたし達がいる場所まで釣ってきた後、タルカスはペチペチ叩きながらプロボ4と5を撃ちまくってタゲを固定。わたしはタルカスの回復に専念し、クロス姉はファイヤーボール4で相手のHPをそぎ落としにかかる。攻撃力も防御力も近隣をうろつくコマンドオーガファイサーよりやや強力、ということだが、HPの量がハンパじゃ無い。タゲが跳ねないように注意しながらなのでやや慎重に取り組んだ事もあり、結局十二分ほどかかってしまったが、まあそれほど苦勞せずに勝てた。クロス姉のファイヤーボールも耐性は無かったとの事だ。

続いてはナイトPDである迅雷の守護者。石段に通じる道の出入り口の付近から、他の兵士に見つからない様に断崖に添って慎重に接近した。画像のところまで来ても反応する様子が無いので、ノンアクか或いは感知幅がかなり狭いかのどちらかだろう。いずれにせよバフと武器の耐久を確認、念のためタルカスには防御の香木を使わせ、プロボをかけて宣戦布告。最初の数合で判明した事は、攻撃力が石段の神軍兵並み、防御力は神軍守護士並みという事だ。もう少し強力じゃないかと予想していたので、この点はやや安心したが、やはりとすべきか、HPの量はアサツグよりもハンパじゃ無い。これは時間かかりそうだと覚悟を決める。

戦い続けているうちに、他にも色々分かった事がある。まずもうろうとさせられるスキル攻撃を、石段の兵よりも頻繁に出してくる事だ。しかも石段の兵士のスキルより効果時間が長い。体感では二倍近くありそうだった。そしてもう一つは対魔法攻撃の耐性で、普段なら千五百から千七百ぐらいダメが出るファイヤーボール4やブリザード2が、どちらも八百ダメぐらいしか出てくれない。どうやら火/水とも五十パーセント前後の耐性を持っている様だ。余裕が

あれば光耐性も確認してみたかったが：召還は無い事を確認。自己バフも特に気にならなかった。少なくともカンサの様なバリアは使ってこない。そういう訳でひたすら削っていけば確実に倒せると分かったが、それでも結局二十分以上はかかってしまった。

なお、アサツグから出たのは即効体中六個、迅雷からはデインギルシルク六個と精神即効中五個：まあ、そんなものだろう。いずれにせよ『いつか死なすリスト』から2つの項目を消す事が出来た。本当はヘルファイヤもいきたいところだが、さすがに上の2連戦がきつかったので、今日はこれで終り。

#### 4人全員が82に上がる／闇神の地下道

八月十五日。

インしたら、タルカスとクロスが所属するギルドのメンバーが二人、二次職への転職クエを始めるところだった。戦力は既に揃っているとの事なので、リレイヤーが事前の露払いを兼ねて見物に向かう。既に岩穴は終わったそうなので、運命の樹のデイスティニーとラビのソウルオブラビンスに向かう。ほとんど問題なく討伐できたが、三次職では楽勝過ぎてスリルも何もあつたものではない。

こうキャップがあつたのなら、少し工夫してもらえないだろうか。例えば塔二十階に転職対象者が混ざっているパーティーしか入れない特別室を作り、そこに転職クエストの共通PDを配置する（当然ながらどんなに高レベルのキャラでも強制的にレベル四十になるから、あとはプレイヤースキルが反映される）…といった対策でも講じないと、転職クエスト自体がイベントの意味を成さなくなっているのだ。もっとも、新コンテンツの開発さえ満足に進められない状態なのだから、言うだけムダかもしれないが…

その転職クエストが終わった後、石段に戻って第一世代でレベル上げ。アヌの夏とはいえ四人同時で、しかも今は慈愛が切れているから、流石に上がりが悪い。まったり狩りという事もあつて、三時半少し前ぐらいしか行かなかつた。

八月十六日。

引き続き石段で第一世代揃ってレベル上げ。タルカス以外の三人が四時十五分ぐらいまで上がった。先行してほしいタルカスにはチートポーションを使ったが、それでも四時半少し前ぐらいまでしか上がらない。効率が悪いのでもう使わない事にする。

八月十七日。

引き続き石段で第一世代揃ってレベル上げ。タルカスが五時十五分ぐらい、他の三人が五時過ぎぐらいまで上がった。歩みは遅いが確実に上がっている。

八月十八日。

引き続き石段で第一世代揃ってレベル上げ。途中で八十ベルさんが転職クエで神軍守護士八十二クエをやりたいとシャウトがあったので誘い、フルパーティーで改めて始めた。しばらくすると、そのベルさんの知人である前衛二人が助っ人に来てくれることになったので、パーティー編成を工夫してわたしとリレイヤーに経験値が入るように組んだ。最終的にカンサまでクリアしたら、わたしとリレイヤーが六時少し前まで上がった。その後少し狩りを続け、結局タルカスが五時四十五分ぐらい、クロス姉も五時半過ぎぐらいまで上がった。かなり調子良く上がっている。

八月十九日。

引き続き石段で第一世代揃ってレベル上げ。今日はちょっと時間がとれなかったのであまり長くは出来ず、わたしとリレイヤーが六時十五分ぐらい、タルカスが六時過ぎぐらい、クロス姉が六時少し前ぐらいまでしか上がらなかった。

八月二十日。

今日は土曜日。明日の日曜と合わせてみっちり経験値稼ぎを行う事にした。まだこれを書いている段階では確定ではないのだが、十日の推理通り、二十四日水曜日のメンテナ後に新エリア及びキヤップ解放がある、という噂が立っている。そこで、出来れば四人揃ってメンテナ前にカンストしておきたいと考え、この二日を経験値稼ぎに費やす事とした。流石に半日ほど続けただけかなり経験値を獲得出来、わたしとリレイヤーが八時半過ぎ、タルカスが八時半ぐらい、クロス姉が八時十五分ぐらいまで上がった。

八月二十一日。

引き続き石段で第一世代揃ってレベル上げ。わたしとリレイヤーが十時過ぎ、タルカスが十時くらい、クロス姉が十時十五分前くらいまで上がった。いよいよカンストが見えてきた感じだ。

八月二十二日。

四人そろって遂にカンスト達成。カンストは初の体験だったが、ステータスウィンドウを開けて見ると、カンストした事が明確に解るようになっていた事が判明。これで、第一世代はキャップが解放されるまでは狩りはせず、次のカンストを待つ事にする。果たして噂通り本当に明後日なのだろうか：

夜の八時からワラシベ。慈愛だったので第一世代の四人が獲得。キャップ解放後に使用する予定。

八月二十三日。

タルカスがインしたら丁度ギルドのメンバーが塔登りに関する話をしてた。メンバーのサブキャラクター二人がエピソード十二階、十三階に登る必要があるというのに加え、十、十四階周回が少なくなつて露店で買えるスキル書、特にヒール3が高騰しているという話が出ていた。そこで丁度登れるメンバーがフルパーティー分いたので二周する事になったのだが、実はそのサブキャラクターも含めてほぼ全員、担当職で登った事がほとんど無いという事が判明した。打ち合わせの末、まずわたしがドル職で登り、他にソル2、スカ1、メイ1という布陣で挑むことになった。

ソル二人が十階のホロウ釣りを苦手としているので、作戦としてはその二人がかりでホロウを釣ってもらい、ブラックキャプテンのタゲは唯一の本職であるス力職が担当、メイが後方から支援攻撃し、わたしが回復に専念した。アヌの夏でブラックの力が弱まっているのもあって、なんとか無難に倒したが、十一階は慣れないと手順が



複雑なだけに、やはり何度か三角頭巾をひっかけてしまい、かなりグダグダとなる。もっとも本職では何度も登っているだけあって、なんとか対処は出来、エニも解く事が出来た。十二階と十三階のエピも成功。十四階ではボイスオブアースとシールド2が出てくれた。狩りはしなかった。塔登りもあつたが、第一世代の四人がカンストしたものの、明日の二十四日にキャップ解放があるかどうか未だ確定していないので、この後の方針が決められないのだ。もし解放が三十一日にズレこんだ場合は、空白となる一週間を有効活用する事を考える必要があるが、例えば第二世代のホワイトフラム達のレベル上げをしようとしたら、任意の期間を設定して各自が所持する慈愛やチートポーションの運用計画も立てなければならぬだろう。

八月二十四日。

朝、デイシプリンがレベル上げを行い、三十五まで上げる。もしキャップ解放が三十一日だった場合、その一週間でデイシプリンが転職するか、あるいは転職クエのクリアまで行く事にしたからだ。デイシプリンは生産主体キャラクターだが、やはりせめて二次職までレベルを上げておいた方が良くだろうと考えた上の結論である。ただし日程が判明するのは今日のメンテナ明けなので、今朝はレベルをひとつだけ上げるに留めた。これ以上上げるかどうかは夕方に決めようと思う。

夕刻、闇神の地下道が実装。キャップは八十五まで、塔も四十二階まで行けるようになった。エピッククエストも二十二まで実装されている。これでまたしばらくは第一世代の四人のレベル上げが優先になりそうだ。少なくとも誰か一人は四十二階まで行けるようにしたい。

という訳で、まずは石段でカンストの四人全員を八十二に上げる。神軍守護士との戦いは、レベル上げという目的ではこれが最後になる。四人でパーティーを組んで一体倒した瞬間、全員が光を帯びて八十二に上がった。初めて見る光景である。

それと実装されたエピソード二十二の一は、クリアすると五百銀と経験値が八千もらえる。八十二にした後、四人全員でやって二金を獲得ししばらくは資金難に苦しむ事もなさそうだ。

色々と情報も入ってくる。まず四十一階で強化研磨材図が出たそう。これで魔石を外す為の最高級杖が安くなればありがたいのだが…それと閻神の地下道で冥の侵攻が出たらしい。明日少し時間を取って試し狩りしてみよう。

八月二十五日。

朝からわたしとクロス姉、そしてタルカスの三人で閻神の地下道に入って狩りとレベル上げを開始。三角頭巾の魔法系モンスターは危険すぎるという事で、まずは四種類の八十越え騎士の実力を確認がてら狩り。グラクナイト八十一、ブルーナイト八十二、ハイパーナイト八十四とそれぞれ十体ずつ戦ってみたが、戦闘能力そのものは石段の神軍守護士たちとそれほど差は無かった。むしろもうろうとさせられるスキルが無い分、地下道の騎士の方が戦い易いだろう。

また冥の侵攻などがかなり出るのがありがたい。まだ自分で確認してはいないのだが、塔のPDの仕様に変化があったらしい。それが本当なら二十階や二十一階の戦いが難しくなるだろう。エピッククエスト十六や十八で二十三階に行く必要があるなら、冥の侵攻十二階用は重宝するはずである…それにしても、これでフェザーム1と金マト攻+は高騰するに違いない…いや、場合によっては市場に出回らなくなる可能性もある。また色々大騒ぎになりそうだ。

なお、レッドナイトは未検証…というか、一匹目であえなく全滅した。日曜日でも無い限り戦うのは無理そうだ。

## タルカスが八十三に上がる

八月二十六日。

引き続きわたしとクロス姉そしてタルカスの三人で闇神の地下道に入って狩りとレベル上げ。騎士の魂の獲得のため、嫌が応でも全種類の騎士と戦う必要がある。その為一番レベルの低いブラックナイト狩りから始める事にした。まずはタルカスの八十五体防具を手に入れたいので、黒騎士の魂を三十個集めなければならない。今日は結局六個集まった。また経験値も、わたしが四時過ぎ、クロス姉が三時半すぎ、寵愛を使っているタルカスが四時半過ぎまで上がった。

八月二十七日。

引き続きわたしとクロス姉そしてタルカスの三人で闇神の地下道で狩りとレベル上げ。今日の時点で黒騎士の魂が十八個、金騎士の魂が四個。経験値は、わたしが五時半過ぎ、クロス姉が五時ぐらい、タルカスが六時少し前まで上がった。

知人のプレイヤーとともに、二十五日で書いた二十階と二十一階の検証を試してみる。公式の告知では塔内モンスターの行動パターンが変わったという事なのだが、具体的にどう変わったのかを知る必要があるからだ。その結果判明した事だが、まず強いヘイトの相手がいなくなっただけ、二番目に強いヘイトの相手との間に障害物が存在する場合、ヘイトが切れて、最初シードがいた場所にレポート。HPはリセットされ、満タンになる。これが何を意味するか、ここでは言わない。しかしまあ、お察しの通りである。二十一階も同様だった。これから攻略が大変そうだが、しかし同時に地下道で二十階や二十七階に行ける侵攻が出ているので、エピッククエストなどはそれほど難儀ではなさそうだ。

夕刻、クロス姉が四十階と四十一階の野良パーティーに参加。わ

たしたち全員、今週実装された四十一階はもちろん、四十階も初めてである。

「とっても面白かったわよ。何よりもメイ職、特にアークメイジが活躍出来るのが嬉しいし」

話によると、範囲攻撃であるソーサラー六十六スキルのエリアライティングがベルセルク七十スキルのクラッシュストライクが有効な局面が両階にあるらしい。図やスキル書も良いのが沢山出たとの事で、是非また行きたいそうだ。

八月二十八日。

引き続きわたしとクロス姉そしてタルカスの三人で闇神の地下道で狩りとレベル上げ。朝の時点で黒騎士の魂が二十五個、金騎士の魂が四個。経験値は、わたしが六時過ぎ、クロス姉が六時少し前、タルカスが六時半ぐらいまで上がった。

デスペナの無い日なので、地下道にいるソーサラーに挑んでみたところが相手の魔法攻撃はクリティカルだと二千オーバーとなり、タルカスでもひとたまりも無い。二回試したところで、正攻法ではまず無理と判断。作戦を立て直すため撤収した。作戦と言っても色々と考えられるが、例えばスタン攻撃の出来る攻撃職と回復および蘇生が出来るプリ系が組んで、デスペナの無い日に次々と攻撃を加えて倒すなど…とにかく簡単に倒せるとは思えない相手なので、ソーサラーはひとまずパス。

八月二十九日。

黒騎士の魂が三十個集まったので、狩り場をハイパーナイトの居場所にして経験値獲得重視型の狩りに代える。同時にタルカスとレイヤーの二人に経験値が行く様にした。クロス姉の火力ならナイトも楽に勝てるが、このままだとレベルのバランスが悪くなるので、クロス姉に変わってレイヤーが火力担当に就く事になったのだ。ナイトは相変わらずスカ系には不向きな防御力をしているが、それ

でもタルカスが八時近くまで、リレイヤーが三時半ぐらまで上がった。

八月三十日。

タルカスが所属するギルメンのサブキャラであるメイ三十八さんの転職のお手伝い。基本的にギルメンで進めようという話だったが、エピソード十三で十八階の鍵図獲得から始めるため、編成上ドル職が必要となり、メドルに行ってもらうことにした。手順は、十八階の鍵図を手に入れた後、助っ人が扉奥で待機しつつ、エピック工該当者が塔から出てクエを進め、十五まで一気に終わらせてしまおうというものだ。まあなんとかなったが、あまり塔登りが得意というメンバーではなかったため、十七階のエニ出しもあまり上手くいかず、十九階も結局モンスターをスルー出来なかった。このメンバーでもう少し塔の訓練をしたいというのが正直な感想である。

その後転職クエに進むが、一人がタイムリミットの為ログアウト。代りに、リレイヤーのギルドのリーダーであるアサシンさんが戦列に加わる。元のベル六十八とログ六十八に加えての戦力増強…というかオーバースペックもいいところなので、当然ながらどの相手もあつという間に終了。まあそれはそれで喜ばしいことなのだが、やはり八月十五日に言ったとおり、何か工夫があつてよいのではないだろうか？

夜八時からワラシベ。今回はチートポーションだった。交換の手順を工夫して、わたしとタルカスが一個手に入れた後使用してインベントリを空け、直後にもう一個手に入れた。その直後に地下道に移動して直ちにログアウト。これで明日の朝はチートポーションが効いた状態で狩りに入れる。

八月三十一日。

タルカスとリレイヤーのレベル上げ。チートポーションが効いているわたしも、最初の三時間はパーティーに加わる。結果、わたし

が七時ぐらい、リレイヤーが五時半ぐらい、タルカスが九時ぐらいまで上がった。

夜、珍しくエピ十三クリアの為の野良パーティーにホワイトフラムが参加。そのクエ対象者がレベル三十九だったので、ホワイトフラムのアドバイスにより、エピ十五まで進めてもらう。昨日もそうだったが、やはりエピ十四と十五を同時進行させる方法は経験者がサポートしないとなかなか勝手がつかめないようだ。

九月一日。

タルカスとリレイヤーのレベル上げ。リレイヤーが六時過ぎぐらい、タルカスが九時四十五分ぐらいまで上がった。

九月二日。

タルカスとリレイヤーのレベル上げ。朝の段階でリレイヤーが七時半ぐらい、タルカスがXの後半まで来たので、出来れば早くケリをつけようと夕方から再びレベル上げを行い、タルカスが無事レベル八十三になった。リレイヤーも八時ぐらいの方向まで来ている。

九月三日。

朝、リレイヤーとクロス姉が所属するギルドのメンバーから三十二階〜三十八階に行こうと誘われる。わたし達の中でまだ誰も三十五階から三十九階までの5フロアに行った事がなく、経験を得る良い機会だという事でクロス姉とタルカスが参加。

クロス姉の報告によると、思ったよりもかなり興味深いフロア群だという。エニの出し方もモンスターの特性も色々で、やり方だけでいくらかでも楽に戦えそうだ。ちなみにアクセサリーのブックが貰えた。器用さと敏捷性があがるので、特に器用さが必要なリレイヤーが装備する事となった。

「アクセサリーにしてはデザインがおかしいわね」

と相変わらずの口を利きながらもリレイヤーが嬉々として装備。

そのあと、タルカスの方のギルドで二十二階と二十三階だけを廻る弾丸周回パーティーを開催。やってみてわかった事は、周回のうまいメンバーなら一周につき七分もあればいけそうだという事だ。これなら、地下道で頻繁に出るようになって以来価格が暴落した二十二階侵攻をそのまま露店に出すより、値が上がった魔晶をとりに行った方がよいだろう。

というわけで二種類の塔パーティーを行ったため、朝のレベル上げは無し。

## リレイヤーが八十三に上がる

九月四日。

タルカスとリレイヤーのレベル上げ。これに加えて、今日は日曜なので地下道の三角頭巾に挑んで見る。八月二十八日に一度挑んだ時は全く歯が立たなかったが、さすがにクレームがついたらしく、その後下方修正されたという。それでも念には念を入れてデスペナの無い今日を選んでやってみたが、八十一のメイジと八十二のソーサラーはなんとか戦えると感じた。八十三のドルイドは転倒があるのでちょっと難しいが、まあこれは棚上げにしようと思う。とって返して今一番欲しいと感じている闇符を落とすソーサラー八十二を狙って狩り始めたが、これが出ない。同じ場所に沸くメイジの闇符は今日だけで三枚出たのに……

結局今日はタルカスが四時少し前、リレイヤーが八時四十五分くらいまで進んだ。とりあえず三角頭巾狩りは日曜日限定として、明日からまたハイパーナイト八十四狩りに戻ろうと思う。

九月五日。

ハイパーナイト八十四場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ。リレイヤーが九時過ぎくらい、タルカスが四時半過ぎくらいまで上がった。

九月六日。

ハイパーナイト八十四場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ続行。リレイヤーがEにかかる寸前くらい、タルカスが六時少し前くらいまで上がった。夜にワラシベがあつたが、交換アイテムが鍵だという情報があつたため寸前で止めておく。

九月七日。



ハイパーナイト八十四場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ。朝、リレイヤーがPにかり始めたので夜に続行して八十三にアッ  
プ。タルカスも七時半ぐらいまで上がった。

それとタルカスとリレイヤーがそれぞれ手持ち武器のひとつを+5に上げたので、メンテナ後に高級オイルが振り込まれる…はずだったのだが、最初見たときは普通オイルだった。当然ながらコメントボードにはクレームが相次いたが、どうやら運営も気がついたらしく、後から高級オイルが追加で振り込まれた。最初の普通オイルは回収しないそうなので結果的には得したわけだが、なんか相変わらずだな…という気がする。

## リレイヤーが八十四に上がる／狩り場で問題発生

九月八日。

ハイパーナイト八十四場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ続行。リレイヤーが三時半ぐらい、タルカスが八時半少し前ぐらいまで上がった。

九月九日。

ハイパーナイト八十四場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ続行。リレイヤーが五時半ぐらい、タルカスが九時ぐらいまで上がった。やはり同レベルでも経験値ゲージの角度で上がり方に差があるらしい。特に斜め付近は良く上がるようだ。

九月十日。

ハイパーナイト八十四場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ続行。リレイヤーが六時ぐらい、タルカスが九時半ぐらいまで上がった。

九月十一日。

一日かけハイパーナイト八十四場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ続行。午後にタルカスが八十四に上がった。リレイヤーも七時半を過ぎたから、次の週末ぐらいには上がるかもしれない。

ところで、八十四になったタルカスが、試しに+3に強化した八十五NPC盾のアルコンアーラを装備してみた。尤もこの盾は+3までしか強化できないのだが、デザインはナイト達が持っている盾とほぼ同じだが、寸法などは当然異なる。性能比較だが、これまで使っていた八十課金盾ラングシエルター+7の防御力は二百七、対してアルコンアーラ+3は二百四。これだけ見るとラングシエルター+7の方が防御力が上なのだが、追加される敏捷性が、ラングシ

エルターは+10なのに対してアルコンアーラは+30。実際に装備してみたら、アルコンアーラ+3の方が防御力が7高くなった。しかし、タルカスは正直言ってこの差はあまりありがたくないそう。だ。もつともこの点では課金八十五盾のネフライトシールドも同じらしい。以前にも書いたが、多少の性能差など戦力を余計に揃えればたちまち無意味になってしまふからだ。こういった点はなかなかバランスを取れない問題ではあるが…

デスペナの無い日なので夕方から迅雷の守護士討伐。タルカスが八十四にあがった事もあって以前よりは楽だが、箱の中身は同じ素材と即効。あと今回わかったのはこのPDがアクティブだということ。それと光魔法がほぼ全部レジられる事だ。

九月十二日。

ハイパーナイト八十四場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ続行。リレイヤーが八時少し前ぐらい、タルカスがちよつと黄色が出たぐらいまで上がった。時間があまりなかったのと、あとタルカスが八十四になってしまったため少しあがりにくくなったようだ。

夜八時からワラシベ。ここ何度か連続してこの時刻に開始されている。対応しやすくてありがたいが油断は出来ない。とりあえずワラシベのある日は夕方から入って、少なくとも放置して告知を見られる様にしておく方がよさそうだ。ちなみに今日は慈愛だった。

九月十三日。

リレイヤーの方のギルメンと塔登り。闇神の地下道にいるブラックナイトから出る冥の侵攻二十二階を有効活用すべく、二十二から二十三階の弾丸周回パーティーを行う。打ち合わせや分配も含めて五周で約一時間。それで最近値段が高騰している魔晶が数個手に入るのと、二十二階の練成の研磨材、或いは二十三階で力中図などが出るので、侵攻がタダで入手出来る事を考えれば正直かなり美味しい。

塔登りのあと、ハイパーナイト八十四場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ続行。リレイヤーが九時少し前ぐらい、タルカスが五時少し前ぐらいまで上がった。しかし夕刻、地下道の南東出口付近にミラーナイトPDである深紅の騎士が登場したので、試しに戦ってみようと考えたのがわるかった。召還が二度も出る上に、一体ずつが奥義でも使わない限り倒すのが無理なほど強い。たちまち追い込まれ、リレイヤーが死んでしまった。お陰で経験値が九時前まで巻き戻ってしまう。授業料としてはかなり高いものについてしまった。とにかく三次職になった前後から、PDが強くなっただけでなく狡猾になつてきている。デスペナの無い日曜日でも無い限り、そういう挑戦は避けた方が良さそうだ。

九月十四日。

ハイパーナイト八十四場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ続行。リレイヤーが九時半過ぎぐらい、タルカスが六時すぎぐらいまで上がった。

夕食前にレベル上げをしていたら、わたし達が狩り場を横取りしたかの様なささやきが突然タルカスに届いた。狩り始める前に人がいない事を確認した上で、同じ場所で、しかも一時間近くも狩っているのにも関わらずそう言われたので、どういう意味かと問い返したところ、相手の勘違いと判明。まあ当然だろう。わたし達全員、狩り場を横取りする様な者が心の底から嫌いである。何度かやられて嫌な思いをした事があり、その経験から自分も取り合いになりそうな狩り場は決して近づかないし、やむをえずその場所で狩る場合は必ず先客にことわりを入れるようにしている。

それと、自分の勘違いである可能性も把握できず、第一声からケン力腰でくる者も嫌いだ。最終的には謝罪してもらえたが、自分の思い込みに疑問を感じる事も出来ず、相手を八ナから悪者と断じる様な思考原理の持ち主は、別の機会に置いても同様の言動に至るだろう。今回の事でそのキャラクターの主がそういう人格の持ち主で

あると分かった。出来る事ならこのキャラには二度と関わりたくないものだ。我ながらきついと思うが、感情とはそうしたものだろう。

九月十五日。

ハイパーナイト八十四場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ続行。リレイヤーがXにかかり始めた。早ければ明朝ぐらいには八十四になれるかも知れない。タルカスも七時半近くまで上がった。

九月十六日。

朝早く、リレイヤーが八十四にレベルアップ。これで前衛は二人とも四十二階に登れるようになった。まだ寵愛は有効なので、このまま出来ればカンストまでもって行きたい。というわけで引き続きハイパーナイト八十四場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ。タルカスが八時半ぐらい、リレイヤーも三時十五分ぐらいまで上がった。

## タルカス、リレイヤーが八十五に上がる

九月十七日。

ハイパーナイト八十四場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ続行。リレイヤーが四時半ぐらい、タルカスが九時ぐらいまで上がった。

九月十八日。

ハイパーナイト八十四場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ続行。朝はあまり時間が無く、リレイヤーが五時ぐらい、タルカスが九時半ぐらいまでしか上がらなかった。日曜日なので昼前ぐらいから集中してハイパー場で狩り。始めようとしたら知人のアサシンとその連れのアークメイジが合流しないかと言ってきたので、昼食までフルパーティーでレベル上げ。それによってタルカスの経験値が十時半ぐらいの方向まで上がった。昼食の後引き続きタルカスとリレイヤーのレベル上げ、夕刻までにタルカスがEの後半、リレイヤーが六時半ぐらいまで上がった。タルカスは明日の朝には上がるかも知れない。

九月十九日。

朝、タルカスが八十五に上がった。これで再び現時点でのキャップでの最高レベルである。もつとも上がりたてなので、カンストまでは一レベル近く経験値を獲得する必要があるが…リレイヤーも七時過ぎぐらいまで上がった。

九月二十日。

ギルドの塔登りがあり、わたしたちの中で初めてクロス姉が三十九階に登る。三十七階のエンクリアの為だが、もうクロス姉は慣れたものらしい。問題なのは三十九階で、どうやらスライムとナイト

を倒して再ポップする色をそろえるらしいのだが、どうもよくわからなかった。

その後ハイパーナイト八十四場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ続行。リレイヤーが七時半ぐらい、タルカスが1ミリほど黄色が見え始めるぐらいまで上がった。

九月二十一日。

ハイパーナイト八十四場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ続行。リレイヤーが八時過ぎぐらい、タルカスが四時ぐらいまで上がった。

九月二十二日。

ハイパーナイト八十四場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ続行。リレイヤーが八時半過ぎぐらい、タルカスが四時四十五分ぐらいまで上がった。ここに来て経験値の獲得量が鈍ってきている。タルカスがレベル八十五でハイパーナイト八十四より格上になったのも原因のひとつらしいが、かと言ってレッドナイトはリスクが大きすぎる。また、少し狩りの時間が取りにくくなってきたのもある。休日は気合を入れて上げる必要があるそうだ。

九月二十三日。

ハイパーナイト八十四場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ続行。リレイヤーが九時少し前ぐらい、タルカスが五時半ぐらいまで上がった。

九月二十四日。

ハイパーナイト八十四場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ続行。リレイヤーが九時十五分ぐらい、タルカスが六時少し前ぐらいまで上がった。

九月二十五日。

日曜日なので、レベル上げで少しもたついている状態を克服すべく、丸一日かけてハイパー八十四狩りを遂行。夕方近くにようやくリレイヤーが八十五に上がった。タルカスも七時過ぎぐらいまで上がって来ている。これであれば寵愛が切れるまでひたすらカンスト目指して経験値を上げていけばいいだろう。

夜にワラシベ。今日は午後七時二十分過ぎぐらいに告知があり、終了は午後八時二十五分だった。いつもより少し早いのは休日だからだろうか。今回はチートポジション。わたしは前回交換した分が残っているので途中で交換を止めたが、タルカスとリレイヤーは明日の朝の狩りで使う分を手に入れた。クロス姉も持っていなかった。なので自分のレベル上げの時に使うため交換。その後、明日も行われるワラシベの為一旦七階に登ってラムーネを購入。

九月二十六日。

ハイパーナイト八十四場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ続行。リレイヤーが三時半過ぎぐらい、タルカスが七時四十五分ぐらいまで上がった。寵愛に加えてチートポジションを使った割りには思ったほど伸びない。やはり格下のモンスターでは厳しいようだが、かと言ってデスペナのある日にレッドナイトを狩るのはリスクが大きすぎるし、それでも同格なのだからメリットはたいした事が無い。せめてこちらが八十二の時にハイパー八十四を狩っていた様な形で狩りが出来ればよいのだが…



## タルカスとリレイヤーが八十五でカンスト

九月二十六日追記。

夜八時からワラシベ。珍しく二日連続で催行された。ただしアイテムが鍵と判明したので直前のワラシベピンクまで交換したあと中断。次回の催行を待つ事にする。

九月二十七日。

ハイパーナイト八十四場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ続行。リレイヤーが四時十五分ぐらい、タルカスが八時十五分ぐらいまで上がった。

九月二十八日。

ハイパーナイト八十四場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ続行。リレイヤーが五時半ぐらい、タルカスが九時少し前ぐらいまで上がった。

九月二十九日。

ハイパーナイト八十四場でタルカスとリレイヤーのレベル上げ続行。あまり時間がとれなかったが、リレイヤーが五時四十五分ぐらい、タルカスが九時過ぎぐらいまで上がった。

九月三十日。

リレとクロスが所属するギルドのログさんが八十に上がったのでわたしとタルカスとクロス姉で転職の手伝いをする。八十二を三十三匹倒すから三連戦まではなんとかあったが、対カンサ戦は流石にきつく、タルカスが一度死んでしまう。なんとかねばったものの結局一度目は失敗。改めてやり直してようやく成功する。レベル上げはその時タルカスが多少上がったが、デスペナでほぼチャラとなって

しまった。

十月一日。

遅れ気味だつ経験値稼ぎを挽回するため、丸一日かけてハイパーナイト八十四場で狩り。夕方になってタルカスがカンスト到達。リレイヤーも七時四十五分ぐらいまで上がった。明日からはリレイヤーが一人で経験値を獲得してカンストに向かう。それが済めばいよいよわたしとクロス姉のレベル上げに移行する事になる。

十月二日。

ハイパーナイト八十四場でリレイヤーのレベル上げ。九時十五分ぐらいまで上がった。

十月三日。

ハイパーナイト八十四場でリレイヤーのレベル上げ。十時半ぐらいまで上がった。延長しない限り寵愛は六日の夜明けに切れるので、それまでにカンストしておきたいと考えているが、この調子ならなんとかなりそうだ。

十月四日。

明け方、リレイヤーがカンストし、意気揚々と街に戻って行った。しばらくは素材集めや様々な雑務に従事してもらう事になる。代つて、いよいよわたしとクロス姉のレベル上げに入る事になった。まず当面は、四十二階に上がる為に八十四になる必要があるのそこを目標とする事を決める。

夜八時からワラシベ。慈愛だったので、わたしはラムーネに加えてそれまで貯めていた三つの未交換アイテムを一気に交換し、慈愛を十二日延長する事が出来た。クロス姉も六日延長している。

## フラとクロスが八十三に上がる

十月五日。

ハイパーナイト八十四場でわたしとクロス姉のレベル上げ開始。わたしもクロス姉も八月二十九日以来本格的に集中して経験値を獲得する状態に入る事になる。二人とも慈愛に加えて以前に貰っていたチートポジションを併用。三時間かけてわたしが八時十五分ぐらい、クロス姉が七時半ぐらいまで上がった。

十月六日。

引き続きハイパーナイト八十四場でわたしとクロス姉のレベル上げ。わたしが九時少し前ぐらい、クロス姉が八時過ぎぐらいまで上がった。

十月七日。

引き続きハイパーナイト八十四場でわたしとクロス姉のレベル上げ。わたしが九時半ぐらい、クロス姉が九時少し前ぐらいまで上がった。

十月八日。

クロスとリレが所属しているギルメンのサブであるシャマさんが三次への転職クエを始めたのでお手伝い。神軍守護士八十二を三十匹からだが、わたしたちが合流する前に八匹は終えたというので残り二十二匹を片付ける。その後イムサを倒す手順なのだが、どういう訳か上層からプロボで釣る地点には一時間ほど経っても移動してこない。もともと明日のデスペナが無い日に三連戦と対カンサ戦を進める予定でもあったので、イムサも明日に持ち越しと決定。

その後、引き続きハイパーナイト八十四場でわたしとクロス姉のレベル上げ。転職クエで得た経験値も合わせて、わたしが十時半ぐ

らい、クロス姉が九時半ぐらいまで上がった。

十月九日。

昨日のシャマさんの転職クエの続きは、入り時間のタイミングが合わず、わたし達がインした時はすでにオラクルに転職を終えていた。手伝えずに残念だったが、その後そのオラさんの初四十階塔頂にクロス姉が参加した。例の三匹同時に倒すというエニグマだが、最初の二回はなかなか要領がつかめずに失敗。三度目でようやく上手く行く様になり、あと何度か周回してコンビネーションを確立する。それとスキル書がかなり出た。丁度上手くシャマ用のヒール5が手に入ったのでオラクルさんが習得。

クロス姉は、まだタルカスが持つていなかったガデ八十スキルのカバールリングを貰ってタルカスに渡していた。これは特定の味方のダメージを何度か肩代わりするという、リレイヤーが言うところの『ど スキル』である。

「フラ姉やクロス姉はともかく、リレ姉のダメは肩代わりしたくないわね」というタルカスの余計なひと言でまたケンカになったようだが、いつものことなので放置。それにしても面白いスキルだ。タルカスの意向はともかく、例えば塔での戦闘でリレイヤーが奥義を発動している時に少しでも長持ちしてもらおう方法として考えれば、面白い選択肢となるかもしれない。まああまり頻繁に使う様なスキルではなさそうだが：

休日のため集中的にレベル上げ。午後にわたしが、夕方にクロス姉が八十三に上がった。あと一レベル上げれば四十二階に行けるようになる。わたし達後衛はとりあえずその八十四まで上げ、次のキヤップ開放で上げ易くなるのを待つ…というロードマップを考えている。

## フラとクロスが八十四上がる

十月十日。

引き続きハイパーナイト八十四場でわたしとクロス姉のレベル上げ。時間が無かったが、二人とも三時半少し前ぐらいまで上がった。

十月十一日。

引き続きハイパーナイト八十四場でわたしとクロス姉のレベル上げ。二人とも四時過ぎぐらいまで上がった。クロス姉の慈愛が切れたので少し差が付き始めたが、火力は経験値を集中出来るので後で調整しようと思う。いずれにせよお互いあと一レベルだけ上げるのが当面の目標なので、それほど焦ってはいない。しばらくはまったりとやる事にする。

十月十二日。

引き続きハイパーナイト八十四場でわたしとクロス姉のレベル上げ。わたしが五時ぐらいまで、クロス姉が四時半ぐらいまで上がった。

十月十三日。

引き続きハイパーナイト八十四場でわたしとクロス姉のレベル上げ。わたしが五時半過ぎぐらいまで、クロス姉が五時少し前ぐらいまで上がった。

十月十四日。

引き続きハイパーナイト八十四場でわたしとクロス姉のレベル上げ。わたしが六時十五分ぐらいまで、クロス姉が五時四十五分ぐらいまで上がった。確実に上がって来ているが、さすがに少し飽きてきた。このままだと煮詰まって狩り自体の効率も下がるから、何か

イベントでも挟もうかと考えている…

十月十五日。

…と思っていたら、クロス姉が所属しているギルドのメンバーから三十七階に塔頂しないかと打診があった。ほしいスキル書があるそうだが、それが出る三十七階の工二は灯籠で、メイ系しか解く事が出来ないそう。そういう訳でクロス姉に行ってもらおう。運良く出たので、それはそのキャラに渡し、助っ人のクロス姉達は魔眼などを貰ってきた。

荷物整理の後、ハイパーナイト八十四場でわたしとクロス姉のレベル上げ。わたしが六時半ぐらいまで、クロス姉が六時少し前ぐらいまで上がった。

十月十六日。

日曜日なのでレッドナイト場で狩り。デスペナは別にして上がりが良いのがあり難いが、同時に三十七階侵攻も落としてくれる。三十七階ならクロス姉がソコ出来るのでありがたい。案の定一度全滅したが、デスペナ無しなので事なきを得る…とはいえ、死に戻りはやはり精神的にストレスがたまるが…あまり狩りの時間が取れなかったものの、わたしが七時少し前ぐらいまで、クロス姉が六時過ぎぐらいまで上がった。

十月十七日。

ハイパーナイト八十四場に戻ってわたしとクロス姉のレベル上げ。わたしが七時半過ぎぐらいまで、クロス姉が六時半少し前ぐらいまで上がった。

十月十八日。

引き続きハイパーナイト八十四場でわたしとクロス姉のレベル上げ。わたしが八時十五分ぐらいまで、クロス姉が七時過ぎぐらいま

で上がった。

十月十九日。

引き続きハイパーナイト八十四場でわたしとクロス姉のレベル上げ。わたしが八時四十五分ぐらいまで、クロス姉が七時半ぐらいまで上がった。

十月二十日。

引き続きハイパーナイト八十四場でわたしとクロス姉のレベル上げ。わたしが九時ぐらいまで、クロス姉が七時四十五分ぐらいまで上がった。少し早めに切り上げて塔前に移動し、以前からやろうと思っていた二十七階、三十階の姉妹周回を試してみる。色々と試行錯誤した結果、各階とも一番簡単で時間がかからないエニグマをひとつずつやるのが良いと判断。それでも魔晶三個、魔眼一個が手に入り、さらに二十九階では五十八スキル、三十階では最高級の杖が手に入る可能性がある。わたしとクロス姉が八十四に上がり次第、第二世代の四人がレベル上げに入るので、今のうちから自力で獲得しておければ都合が良い。

夜、ワラシベに参加。今回は九時半スタートといつになく遅かった。もうすこし遅かったら切り上げるつもりだったが、慈愛がもらえたので参加して正解だった。

十月二十一日。

引き続きハイパーナイト八十四場でわたしとクロス姉のレベル上げ。わたしが九時四十五分ぐらいまで、クロス姉が八時四十五分ぐらいまで上がった。

十月二十二日。

丸一日を費やしてわたしとクロス姉がハイパーナイト八十四場で

わたしとクロス姉のレベル上げ。昼過ぎにわたしが、夕方にクロス姉がレベル八十四に上がる。これで第一世代の四人は全員塔の最上階に登れるようになった。ようやく一段落したので、今度はわたしとクロス姉のレベル上げは優先順位を下げ、第二世代の四人のレベル上げやディシプリン、ツァイトらのレベル上げを始めようと思う。



## ディシプリンが転職/ホワとダムが四十七に上がる

十月二十三日。

今日からディシプリンとツアイトが二次職まで上がる訓練を開始する。ディシプリンはソルジャーの難所とも言えるレベル三十五。丁度火耐性が多い狩り場にいるレベルだが、ソルは片手だと火属性のスキルしかない。したがって狩りの相手も限られる。三十六になれば両手鎌のダークサイズを使って土属性スキルのクラスマが使えるから大分楽になるので、まずはディシプリンのレベル上げを開始。ドルのツアイトはともかく、パワーレベリングが可能だった以前と違って、現在は少なくともレベル上げをするキャラ自身で相手にダメージを与えなければならぬ。カメはメイなどが得意だが逆にソルは向いていないので、採掘場の牛に狙いを定める。寵愛を使った事もあって夕方には三十六に上がった。ダークサイズに持ち替えてツアイトとともにラビリンスに移動。次からはラビでレベル上げに入る。

十月二十四日。

ゲイズが沸くアイオブガールの狩場、いわゆる「目玉部屋」でディシプリンとツアイトのレベル上げを始める。前日の牛三十三相手と違って三十八目玉が主体の狩りだけに流石に上がりが早い。特にディシプリンは寵愛とチートポーションを併用しているので、三時間もしないうちに三十七に上がった。ツアイトもレベル三十五になって、さらに六時ちかくまで来ている。ここで一旦ディシプリンがバビリム東に戻り、リリスクエを受諾。ラビリンスの石碑でタルカスやツアイトと合流してリリス部屋に行き、レベルアップとリリスクエに入る。対象のレベル三十九が中々でないが、それでも朝食までにクエアイテムを十八個手に入れた。経験値もディシプリンが八時すぎぐらいまで、ツアイトが九時十五分ぐらいまで来ている。

十月二十五日。

昨日の昼、夕方、そして今朝を通してディシプリンを重点的にレベル上げて、なんとか四十に上げる事が出来た。この帯域でのレベル上げはわたし達姉妹も久しぶりなのだが、確かに上がり易いと感じられる。いくら寵愛とチートポーションを併用しているとはいえ、正味一日で三十七から四十まで上げられるというのはかなり楽な方だと思う。経験値テーブルがかなり緩和されているという事なのだろう。四十になったので、兼ねてからディシプリンの為に用意していたフェザームーブ2を習得してもらい、転職に備える事にする。なお、ツアイトも三十六まであがった。

夜七時十五分からワラシベ。今回は早かったな、と思いながら第二世代の妹たちに参加させるが、鍵と判明したので例によって途中でストップ。その後、タルカスとディシプリンのギルメンに協力してもらってエピをクリア。転職は明朝に始める事にする。

十月二十六日。

ディシプリンが転職クエストをクリア。ガーディアンに転職した。わたしたち姉妹で九人目の転職経験者となる。また、タルカスはセイバーになっているので、ガデが姉妹の列に加わったのは久しぶりだ。といってもディシプリンは生産優先なので、レベル上げとクエ以外はあまり戦闘には出てこないと思うが…

十月二十七日。

今日から第二世代のレベル上げ。当面の目標は、エピクエ十九がクリア出来るレベル五十二まで上げる事だが、出来ればエピ二十二が可能なレベル六十二に上げられないかと考えている。どこまで出来るかは成り行き次第だ。まずはホワイトフラムとダムネイシアが、シッパル湖の青スラとプール五十ノ五十一を相手に訓練開始。二十三日にも書いたが、とにかく今はレベル上げをする本人或いは本人

達が自力で戦わなければならない。まあタルカスが面倒を見ているので防御は心配ないが、五レベル上の相手だと流石に空振りが多いようだ。それでもなんとか二人とも今日だけで三時半から六時半ぐらいまで上げた。

十月二十八日。

引き続きホワイトフラムとダムネイシアのレベル上げ。朝までに二人とも四十七に上がった。経験値テーブルの緩和後、このレベルで本格的にレベル上げをやったのは初めてだと思うが、かなり順調に上がっている。

## ホワとダムが五十に上がるノファラデーが四十七に上がる

十月二十九日。

引き続きホワイトフラムとダムネイシアのレベル上げ。午前中二人とも九時過ぎぐらいまで上がった。昼食と買い物を経て午後継続。夕食前に二人とも四十八に上がった。

そろそろ二人の五十装備も考えてやる必要があるそうだ。ホワイトフラムは両手斧としてウトウ五十を用意しているが、ダムネイシアはスカ系の五十武器としてレイヤーが以前使っていたカリーダガー五十を一本だけしか用意できていない。五十になったら二刀流を主体にしたいと言っているので、なんとか良いログ五十武器を手に入れてやりたいと思っている。

十月三十日。

引き続きホワイトフラムとダムネイシアのレベル上げ。午前中二人とも六時過ぎぐらいまで上がった。ここから慈愛とチートポーションの有無が異なるのでどうしようかと考えたが、持っているホワイトフラムを先行させることにした。ホワイトフラムが五十になったらダムネイシアはメドルと組ませるつもりだ。

午後から再びレベル上げ。結果、夕刻までにホワイトフラムはレベル四十九に上がった。ダムネイシアも九時の方向まで上がっている。

十月三十一日。

引き続きホワイトフラムとダムネイシアのレベル上げ。最初はモツシーのポップ点付近でスラとプール五十/五十一を狩っていたが、明け方にヘビ五十二場が空いていたので移動。おかげでかなり効率よく進み、朝までにダムネイシアがレベル四十九になった。ホワイトフラムも七時の方向まで経験値が獲得出来ている。ホワイトフラ

ムの方は、早ければメンテナ前には五十に上がれるかも知れない。

十一月一日。

ホワイトフラムがレベル五十に上がった。思ったよりも早いのは、やはりわたし達が五十ぐらいの時より経験値テーブルが緩和されているからだろう。ダムネイシアも六時半ぐらいまで上がった。ここでホワイトフラムの慈愛も切れたので、一旦レベル上げを切り上げて街に戻り、タルカスとリレイヤーが使っていた五十装備をホワイトフラムとダムネイシアが譲り受けたあと、二人のエピッククエスト十七を進める事にする。リレイヤーの先導でスーマールのデモンローズ、オーブの鉾脈の三色オーブをクリアし、エピソード十七をクリアして無事に五十スキルを獲得する。

これでホワイトフラムのレベル上げは一旦留め置き、他の三人のレベル上げを行ってバランスをとろうと考えている。

十一月二日。

ダムネイシアがレベル五十に上がった。とりあえずリレイヤーのリーダーダガー五十＋7と五十防具をつけてもらうが、早いところ口グ五十武器を手に入りたい。レアのアナコンダハンターが欲しいところだが、手に入りそうになれば課金のロングニードルを購入しても良いかも知れない。いずれにしる第二世代が全員五十になった時点で考えようと思う。

その第二世代のうち、まだレベル四十六の後衛の二人がこれから五十を目指して訓練に入る。今日はやや時間がとれなかったが、アラデーは六時少し前、メドルは六時過ぎぐらいまで上がった。

十一月三日。

今日は訓練ではなくタルカス達のギルドで塔登り。メンバーの一人のソルキャラがまだフレストラを手に入れていないという事なので、十階から十四階の周回を行う事になったが、なんと一周目でフレス

ラが出た。気を良くしてそのまま金策周回に移行。残り四周もかなり色々出て、最後はヒール3まで手に入った。その後、そのメンバーがつい最近転職したばかりで二十階に行った事が無いというので二回登ってみた。ハメが使えなくなったのでエン奥義とス力奥義を駆使した討伐となったが、前衛の二人が慣れていない為最後まで攻撃を続行してしまい、エニグマは解けなかった。まあ二十階がどういふものを体験してもらったための塔頂なので、これはこれで由となったが：

夕方になって、リレイヤーが欲しがっていた赤いハイヒールが露店で売っていたので購入。これで赤いビキニとのバランスが取れた、と珍しくリレイヤーが素直に喜んでいた。

十一月四日。

シッパル湖でファラデーとモデルのレベル上げ。あまり時間がとれなかったが、モデルが七時ぐらい、ファラデーが七時少し前ぐらいまで上がった。

十一月五日。

レベル上げの方針を少し修正した。ファラデーの魔法攻撃のレジが多すぎて効率がわるいので、まずレベル先行してもらい、モデルのレベル上げはしばらく留め置きと決定。そういう訳でファラデーだけのレベル上げとなり、朝までに九時の方向まで進んだ。

十一月六日。

シッパル湖でファラデーのレベル上げ。朝までに四十七に上がった。

## ダムネ五十二・ホワイト五十・メドル四十九・ファラ四十八

十一月八日。

シッパル湖で引き続きファラデーとメドルのレベル上げ。慈愛が効いている間にファラデーが集中的に経験値を獲得して九時ぐらいまで上げ、その後メドルが参加して並行して上げて行き、朝までにファラデーがレベル四十八に、メドルが四十七に上がった。これで二人ともエピック四十七が始められるので、昼休みと夕方に進める事にした。まずはリレイヤーのサポートがついて、昼休みにスーマールでロイクからクエを受け、デモンローズの沸き場に行く。

「ホワイトフラムとダムネイシアの時は、到着した時に出ていたから、今回も密かにそれを期待していたんだけど、残念ながら普通のエビルローズが抽選で沸いてた。まあそこまでうまくは行かなかつたわね」

とリレが苦笑しながら報告してきたところでは、昼休み終了の五分前によく沸いてくれたそうだ。早速討伐したが、ロイクにアイテムをわたしてバビリム東まで戻ったところで時間切れ。夕刻に改めて進め、どうにかファラデーとメドルのエピ十七がクリア出来た。このあとは五十二になってエピ十八と十九が出来るようになるまで上げる必要がある。

十一月九日。

今日からシッパル湖のヘビ場でレベル上げ。ログ五十のダムネイシアとシャマ四十七のメドルに組んでもらう。この組み合わせは実に効率が良く、時間がほとんど取れなかったにも関わらずそれぞれ四時の方角まで進んだ。

十一月十日。

ダムネイシアとメドルのレベル上げ。ダムネイシアが五時前、メドルが五時過ぎぐらいまで上がった。その後、少しだけわたしとクロス姉が久しぶりに地下道でレベル上げ。ゲージに黄色が全く無かった状態から、2ドットぐらい黄色が表れるところまで上がった。

十一月十一日。

引き続きダムネイシアとメドルのレベル上げ。ダムネイシアが七時半過ぎぐらい、メドルが八時四十五分ぐらいまで上がった。

夜にワラシベ。慈愛だったのでホワイトフラムとダムネイシアとメドル、そしてわたしとクロス姉も参加。もつともわたしとクロス姉が使うのは第二世代の四人がある程度上がってからになる。

十一月十二日。

朝早く、メドルが四十八に上がった。引き続きレベル上げを行ってダムネイシアも五十一になる。さらにメドルも五時半ぐらいまで上がった。かなり順調である。

ところで途中で倒したシッパルアナコンダからログ五十武器のアナコンダハンターが出るというオマケがあった。これを強化してダムネイシアに装備させ、場合によっては二刀流にスイッチ出来る様に整備する。燃費の悪い二刀だが、やはりログはいざという時にこの装備になれる方が望ましい。

十一月十三日。

引き続きダムネイシアとメドルのレベル上げ。今日からトカゲ五十六が沸くエリアに移動する。レベル的に難しいかと思っただが、これが意外なほどサクサク狩れる。わたし達第一世代がこの辺でレベル上げをしていた時よりも、格上のモンスターに対する命中率はかなり良くなったようだ。日曜日という事もあってじっくりと狩りを続け、午後にはメドルが四十九に上がった。ダムネイシアも九時ぐらいまで上がっている。この様子ならダムはメンテナ前には五十二



に上げれるだろう。

十一月十四日。

昼休みの訓練開始早々ダムネイシアが五十二に上がった。これでエピ十八と十九が出来る様になつたが、それは他の誰かが五十二に上がった時に一緒にやる事にして、慈愛が効いている現在は訓練を続行。昼休みが終わるまでにダムネイシアは三時十五分ぐらい、メドルは六時四十五分ぐらいまで上がった。

## ダムネ五十二・ホワイト五十一・メドル五十一

十一月十五日。

今日からベル五十のホワイトフラムとシヤマ四十九のメドルが組んでレベル上げ。狩り場は色々考えられるが、バランスなどを考慮してシツパル湖北東のダーティーワームとシツパルリザード五十二・五十三の生息場所に決定。ワームは以前土耐性があり、ベルが一般的に主要スキルとするクラッシュスマイトは通用しないので、ベルは敬遠しがちだったが、修正が入って土耐性がなくなったか、或いは大幅に下がったため、現在ではクラスマも問題無く使える。今日はホワイトフラムが五時四十五分ぐらい、メドルが九時過ぎぐらいまで上がった。

ところで思うのだが、ベルセルクの戦い方はコツがいる。というのは各スキルのクールタイムが長いので、スキルだけで戦う場合はその組み合わせと発動のタイミングを見極めなければならない。他の攻撃職も多かれ少なかれそういう事はあるのだが、特にベルの場合、クラスマはクールタイムが4秒。同じソル系でもガデが多用するフレスラがクールタイム3秒で、1と2、或いは2と3に同じ片手スキルのヒースラを組み合わせるとほぼ間断無くスキル攻撃が出来るのに対して、これだけで戦うと、1と2を組み合わせてもどうしても攻撃中にタイムラグが起こる。そこでヒートボディ1や五十でようやく手に入るボディプレス1などを組み合わせるのだが、これまたどちらもクールタイムが十五秒という問題がある。修正が入らない限り、この問題はいつまでも尾を引くかもしれない。

十一月十六日。

朝までにメドルがレベル五十に上がった。これで五十スキルのホーリーライト4が使える訳である。

「でも、ホーリーライト4はランクを上げるべきかどうかよつと

悩んでいるのよね。というのは五十五でウィークネス2を取得出来るから、その様子を見てからあげようと思う」

メドルの言う通り、スキル振りは今後ますます慎重を期する必要がある。わたしも3まで持っているから分かるが、ホーリーライトはドル系のソロにはありがたいものの、パーティー戦闘ではあまり使う機会が無い。特にシャーマンならウィークネスやグノーパワーをランクアップした方がソロでもパーティー戦闘でも重宝する場合が多いだろう。メドルの言う通り、ウィークネス2を見極めてからでも遅くはないだろう。

十一月十七日。

引き続きシツパル湖でホワイトフラムとメドルのレベル上げ。ホワイトフラムが九時十五分ぐらい、メドルが五時ぐらいまで進んだ。夜にワラシベ。途中で鍵だという情報が入ったので絵で止め置く事にする。

十一月十八日

ファラデーがギルド塔頂に参加。二周したが大したものではなかった。この後シツパル湖でホワイトフラムとメドルのレベル上げ。朝早くホワイトフラムが五十一にあがった。メドルも七時ぐらいまで上がっている。ここで二人の慈愛が切れたので、明日からわたしとクロス姉の訓練を行う予定。

十一月十九日

今日から三日ほど、わたしとクロス姉のレベル上げ。ワラシベで手に入れた慈愛の有効活用のためだが、地下道での狩りは久しぶりなのでタルカスもちよつと戸惑っていた。それでも、わたしもクロス姉も五時少し前まで上がった。

十一月二十日

引き続き地下道でわたしとクロス姉のレベル上げ。時間がなかったので五時過ぎぐらいまでしか上がらなかった。

十一月二十一日

引き続き地下道でわたしとクロス姉のレベル上げ。朝までに六時過ぎぐらいまで上がった。ここでわたしとクロス姉の慈愛が切れたので、また一旦レベル上げ訓練を留め置きとする。夜にワラシベ。チートポジションだった。

十一月二十二日

今朝は荷物整理と生産、及び素材集めのみ。訓練は無し。

十一月二十三日

シッパル湖でホワイトフラムとモデルのレベル上げ。ホワイトフラムが五時半ぐらい、モデルが九時十五分ぐらいまで進んだ。

十一月二十四日

引き続きシッパル湖でホワイトフラムとモデルのレベル上げ。ホワイトフラムが六時半ぐらい、モデルがEの後半ぐらいまで進んだ。夕刻、新しいスキル等が実装されていた。ソルのプロボに相手の防御力をさげるデバフが付いた、といった新システムも実装されている。まだ色々と研究の余地がありそうだが…

十一月二十五日

モデルが入ってみると、ちょっと妙な事が起きていた。昨日の段階でEの後半だった経験値が、五十カンスト状態になっていたというのだ。ホワイトフラムも三十分ほど進んでいるらしい。理由は不明だが、昨日のメンテナでレベル四十から七十にかけての経験値テーブルが緩和された事が関係しているのかと推察。で、一度狩りをして経験値を得たら、すぐに五十一に上がったという。モデルはな

んか腑に落ちない様だが、まあ全員がそうなら構わないだろう。そのまま狩りを続け、ホワイトフラムは7時半ぐらい、メドルも三時十五分ぐらいまで上がった。

少し早めに狩りを切り上げて二十七階から三十階への塔登り。今週は強化キャンペーンがあり、今週中に武器もしくは防具を+3にしたキャラには慈愛等のチケットが1日分。+5まで上げたキャラには高級帝国オイルが振り込まれるという。うまくやりくりして、今レベルを上げたいキャラが対象になる様に工夫する。とりあえずはホワイトフラムが+3を二回達成。あと一回やったあとメドルも参加させるつもりだ。

## 第二世代の四人全員が五十二に上がる

十一月二十六日。

引き続きシツパル湖でホワイトフラムとメドルのレベル上げ。ホワイトフラムが八時半過ぎぐらい、メドルが五時過ぎぐらいまで上がった。その後昨日の続きで二十七階から三十階をソロで攻略。最終的にホワイトフラムとメドルが+3強化を三回行った。これでの内、その分の慈愛が手に入る事になる。

十一月二十七日。

引き続きシツパル湖でホワイトフラムとメドルのレベル上げ。ホワイトフラムが九時十五分過ぎぐらい、メドルが六時過ぎぐらいまで上がった。

十一月二十八日。

引き続きシツパル湖でホワイトフラムとメドルのレベル上げ。ホワイトフラムがEの直前、メドルが七時ぐらいまで上がった。

十一月二十九日。

引き続きシツパル湖でホワイトフラムとメドルのレベル上げ。ホワイトフラムが明け方に五十二に上がった。第二世代ではダムネイシアに続いて二人目の五十二レベルだ。メドルも八時半近くまで上がって来ているから、順当に行けば来月早々には上がるだろう。

ところで現在、こういった種類のゲームの人気投票が某所で行われている。今のところドルアーガは十位以内がほぼ確実、うまくすれば五位以内も狙えるという位置にいる。実現すれば生産の経験値取得量が一定期間内だけ五十パーセント増えるという。この機会にクロス姉の装飾レベルをひき上げ、現在の七から、神具の杖最上級が作れるレベル十に出来ないだろうかと画策している。ただそれに

は、高級系や強化研磨材といったそれなりのレベルの生産能力が必要だろう。勿論素材も必要だから、図を探しながら素材を集める必要がある。色々やる事が多くて大変だ。

十一月三十日。

引き続きシッパル湖でホワイトフラムとメドルのレベル上げ。ホワイトフラムが三時十五分過ぎぐらい、メドルが八時半過ぎぐらいまで上がった。その後タルカスとクロス姉が二十七階から三十階までの塔周回を行って魔晶や魔眼を集め、ワタシとクロス姉がメテナ後に共に慈愛二日分が手に入るように割り振ってアイテムの強化を実行した。わたし達の訓練も機会を見て再開しようと思う。

十二月一日。

シッパル湖のリザード五十六場が塞がっていたので、ワームとリザードが両方沸く隣の狩場へ移動。ただしベルであるホワイトフラムのクラスマは土属性である為、マッドワームには通用しない。そこでログのダムネイシアに交代してメドルと組ませ、レベル上げを続行。朝までにメドルが十時過ぎぐらい、ダムネイシアが五時過ぎぐらいまで進んだ。

十二月二日。

朝、メドルが五十二に上がった。これで第二世代の四人のうち三人まで五十二である。明日からは慈愛とチートポジションが残っているエンのアラデーを集中して上げ、次のワラシベで三人が慈愛かチートポジションを手に入れるまでに三人に近づけるか、出来ればレベルを並ばせたい。

十二月三日。

今日からアラデーのレベル上げ。四十八で経験値ゲージがほぼゼロから始めて、夕方には四十九の六時半ぐらいまでであった。土

曜日ではぼ一日使えた上に慈愛とチートポジションを使った事もあってこれだけ上がった。明日には五十になれそうだ。

十二月四日。

引き続きファラデーのレベル上げ。朝までにEの前半まで上げたが時間切れ。夕方再びインして狩りを続けて五十にあがる。これでようやくエン得意技として知られるクイツクキャストイングーが習得できた。そのあと、明後日のワラシベに備えて各人がラムーネを購入する。

十二月五日。

引き続きファラデーのレベル上げ。五時半ぐらいまで上がったところでタルカスとファラデーのギルメンがイン。レベルが近いキャラがいるという事で、その人のフレともども合流。朝食前までに八時ぐらいまで上がった。

夕方にワラシベがあるので待ち時間を利用してファラデーのレベル上げを続け、始まる前にレベル五十一に到達したのだが、時間が合わずに参加出来なかった。

さて、今日はかなり深刻な出来事が起こった。あるサイトで開催されていたオンラインゲームの人気投票にドルアーガが参加していたのだが、順位によっては褒章の頒布、或いはゲーム内の新システムを開発するという公約がなされており、その開発が該当する四位という好位置を維持していた。

だが、今日になって運営が突然エントリーを辞退すると公表したのである。公表時点では理由は明確では無く、ただエントリーの継続が出来なくなったと発表されただけである。反古となった褒章については後日に何らかの補填がある様だが、それよりも何よりも、ドルアーガというゲームに対する信頼を根底から揺るがす事態だという事が運営に分かっているのか疑わしい。これまでも運営に対す



る非難は少なからず存在した。新マップや三次職スキルの実装遅延、使い回しのモンスター。加えて明らかにテストプレイをやらずに実装してしまった地下道。そのため実装後たった一週間でモンスターの攻撃力に修正が加わるというドタバタ劇：こういった流れの中で今回の不始末が発生したのだ。

少し経ってから人気投票を催行していた側が事実を明らかにした。ドルの関係者の一人が投票システムの根幹を揺るがす行為をなし、それを開催側がドルアーガの運営に問い合わせたところ、エントリーを辞退するという返答を得た、といったものだった。

怒り心頭なのはユーザーである。運営からの説明が現時点で到底満足の行くものではない事もあり、公約したシステムなど初めから開発する能力も予定もないのに実効しなければならぬ順位まで上ったから、あるいは赤字でサービスを終了したいから、その口実を作る為の茶番劇だというものさえいる。邪推だとは思いが：いずれにせよ、他のゲームまで巻き込んでの不始末なのだから、ゲーム内のプレイヤーに対する善処だけでは収まりがつかないだろう。おそらくどう転んでも信頼は元には戻らないはずだ。そう考えると、このゲームは本当に終わってしまうかもしれない。

十二月六日。

引き続きファラデーのレベル上げ。八時少し前まで上がった。

十二月七日。

引き続きファラデーのレベル上げ。朝までにEの左下にかかり始める位置まで上がった。

十二月八日。

ファラデーが五十二に上がった。これで第二世代が全員五十二になったので、早速エピック十八を開始する。だがオーブの鉾脈にいるブリリアントカットは問題無いものの、塔二十三階でのウィザー

ド四十七は流石に誰かに助けて貰わなければならない。塔頂の日と  
いう事もあるので、日曜日助っ人を頼んで全員クリアしようと思  
う。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9594p/>

---

フラジャイルの日記帳 2011

2011年12月11日08時47分発行